誰にでもできる ロッドクラフト

ブランクそれぞれに個性があるように、ロッド作りもロッドビルダーの数だけノウハウがあると言ってよく、
だからこそカスタムロッドの楽しさがあります。
ここに記すのは、あくまでベーシックな方法です。
今後さらに効率的でより良い仕上げを求める場合は、積極的にプロショップ様や熟練の方におたずねください。
では、楽しく安全にロッドクラフトにチャレンジしてください。

ご注意 たとえ保証期間内であっても、改造したロッドはメーカー様の保証対象外となります。この点を十分ご理解の上、ロッドの改造は、あくまでもご自身の責任で行ってください。

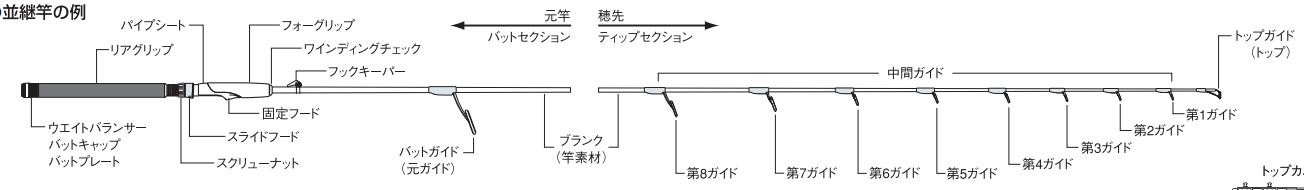
安全に関する注意事項
・作業に入る前に、この説明書をよくお読みになり、内容を十分に理解してから作業に入ってください。
・安全に作業していただくために、下記の警告表示がされている箇所がありますので、記載事項を必ずお守りください。各警告表示とその意味は、次の通りです。

⚠ **警告：** お守りいただかないと、死亡･重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

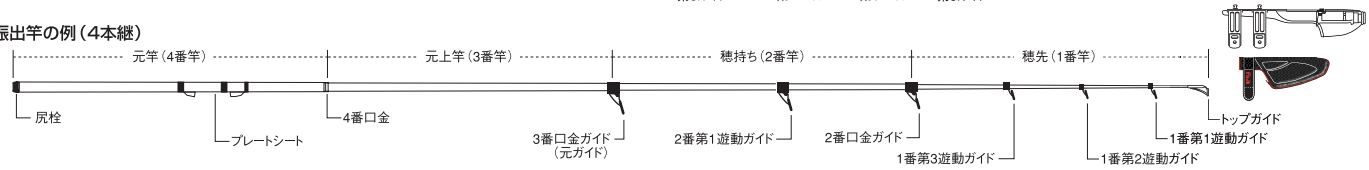
⚠ **注意：** お守りいただかないと、軽傷または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

ロッドコンポーネントの名称

●並継竿の例



●振出竿の例（4本継）



■フライロッドは、いちばん手前のガイドをストリッピングガイドと呼びます。
■振出竿用ガイドはスライドガイドとも呼ばれ、遊動型（スリップオン型）と口金接着型（グルーオン型）があります。

糸巻き式ガイド･トップガイドの取り外し

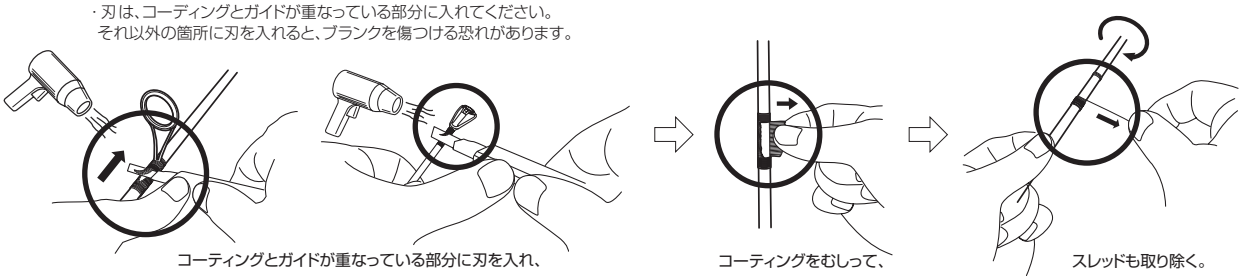
ツール

ロッドクラフトで使うマスキングテープは、はがす際に糊が残りにくく、ベタつきにくいものを選びましょう。

⚠ **警告：** ・ツールを使用する前に、付属の取扱説明書をよく読んでから使用してください。
・カッター、薬品、ドライヤーやライターの熱などの取り扱いに注意してください。

① ドライヤーで温め、カッターでコーティングとスレッドを取り除きます。

⚠ **注意：** ・カッターの刃で手を切らないよう、十分注意してください。
・刃は、コーディングとガイドが重なっている部分に入れてください。
それ以外の箇所に刃を入れると、ブランクを傷つける恐れがあります。

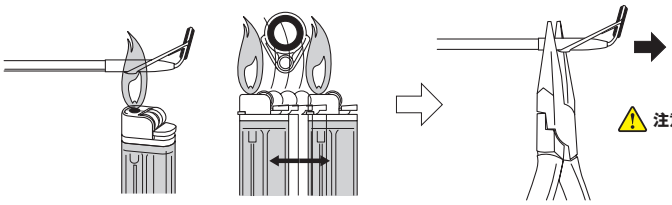


コーティングとガイドが重なっている部分に刃を入れ、　コーティングをむしって、　スレッドも取り除く。

② トップガイドはライターで軽くあぶって外します。

⚠ **警告：** ・あぶった際、トップガイドが飛び出ることがありますので、周囲の安全に注意してください。
・火気の取扱いには十分注意してください。

⚠ **注意：** ・あぶり過ぎるとブランクが焼けてしまうので、注意してください。
・本来ブランクの保護を考えれば、直火であぶることは避けるべきですが、実際にはドライヤーレベルの熱ではなかなかトップガイドは外れません。どうしても直火使用を避けたい場合は、その他の方法について、プロショップ様や熟練の方にご相談ください。



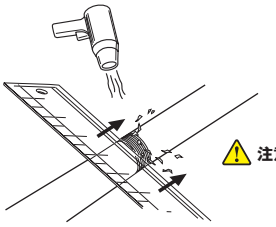
パイプ部をライターの炎の腹で、サッサッという感じで、あくまで軽くあぶり…　ラジオペンチでまっすぐ引き抜いてください。

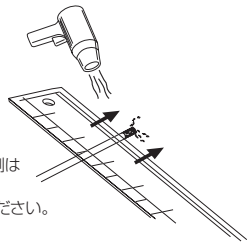
⚠ **注意：** 捻るとブランクが痛みます。

contents

●ガイドの取り外し……2・3
●プレートシートの取り外し……3
●グリップ部の取り外し……3・4
●ブランクの塗装……4・5
●ブランクのスパイン出し……5
●グリップ素材の形状加工……5・6
●グリップ部の取り付け……6～8
・グリップの接着……6
・バットアクセサリーの接着……6・7
・パイプシートの接着……8
・フォーグリップ、メタルパーツの接着……8
●ガイドの仮り止め……8・9
●ガイドの足削り……8
●トップガイドの接着……8・9
●ブランクの曲がりテスト……9
●装飾テープを使ったキャスティングテスト……9
●ガイドの巻き方……9・10
●　〃　2色巻き……11
●　〃　飾り巻き……12～15
●ガイドのコーティング……16・17
●プレートシートの取り付け……17
●口金ガイドの取り付け……17
ロッドコンポーネントのメンテナンス……18・19
●SKシリーズの接着……21
●FUJI ロッドクラフト用品 / 通販お申し込み方法……23

③ ドライヤーで温めながら、定規の角でコーティング、接着剤を取り除きます。





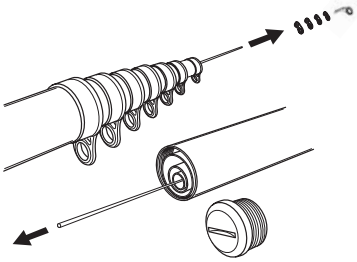
⚠ **注意：** コーティング、接着剤は熱くなりますので、やけどに注意してください。

口金ガイドの取り外し

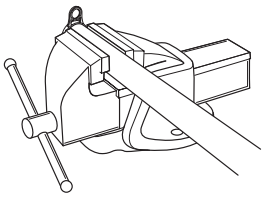
⚠ **警告：** ツールを使用する前に、付属の取扱説明書をよく読んでから使用してください。

ツール

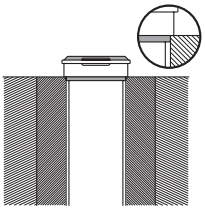
① まず、外したい箇所より穂先側にあるトップガイドと遊動ガイドをすべて外し、そのブランクを抜き取ります。
※トップガイドの外し方は、前ページと同じです。



② あらかじめ、万力をちょうどいい広さにしておきます。

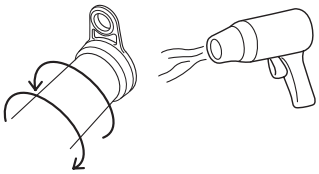


⚠ **注意：** 竿を直接万力で挟まないように注意してください。
また、万力に触れそうな部分には、マスキングテープを巻くなどして竿を保護してください。



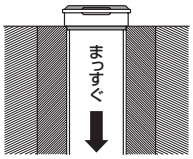
⚠ **注意：** 万力の縁に引っ掛ける箇所は、金属フレームの下端です、樹脂部に引っ掛けると、ガイドの変形･破損の恐れがあります。

③ ドライヤーで口金ガイドを熱します。
この時、竿を回しながらガイド全体を充分に熱します。



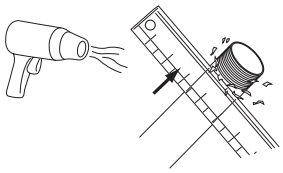
⚠ **注意：** 直接火であぶらないでください。
竿が焼けたり、ガイドが変形します。

④ すばやく竿を万力にセットし、まっすぐに引き抜きます。



⚠ **注意：** 竿は必ずまっすぐに引き抜いてください。
斜めに引き抜くと、竿を痛めたり、破損する恐れがあります。

⑤ 口金部に残った接着剤は、ドライヤーで温めながら定規の角を使って取り除きます。



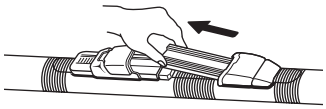
一度で外れない場合は、③④の手順を繰り返してください。この方法で外れない場合は、お求めの小売店様、竿メーカー様にお問合せください。

プレートシートの取り外し

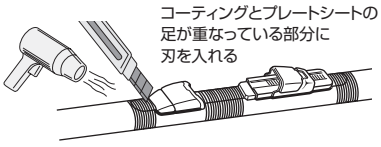
⚠ **警告：** ツールを使用する前に、付属の取扱説明書をよく読んでから使用してください。

ツール

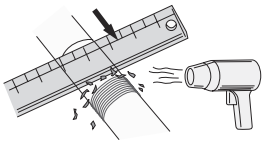
① NSシートの場合は、図のようにプラスチックカバーを持ち上げてロックを外し、矢印方向に引いて外します。



② ドライヤーでコーティングを温め、カッターでコーティングとスレッドを取り除きます。



③ 残ったコーティングも、ドライヤーで温めながら定規の角を使って取り除きます。

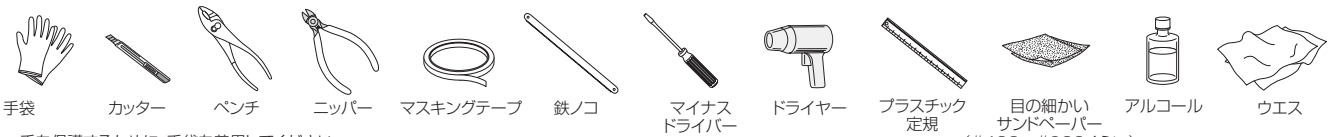


⚠ **注意：** ･カッターの刃で手を切らないように注意してください。
･カッターの刃を入れる際は、ブランクをキズつけないように、気をつけてください。

グリップ部の取り外し

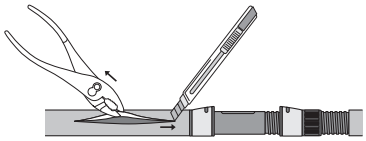
⚠ **警告：** ツールを使用する前に、付属の取扱説明書をよく読んでから使用してください。

ツール



⚠ **注意：** 手を保護するために、手袋を着用してください。

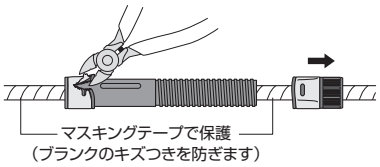
① カッターでリアグリップに切れ目を入れ、ペンチで挟んでむしり取ってゆきます。
（フォーグリップも同様）



⚠ **注意：** 深く切り過ぎて、ブランクをキズつけないように気をつけてください。

切れ目は複数入れると作業がラクです。

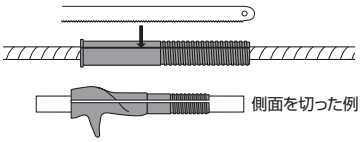
② スライドフードを外し、固定フードをニッパーで切断して取り除きます。



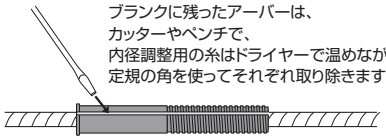
富士工業株式会社®
本社：〒422-8564 静岡県静岡市駿河区南町19-3
Tel（054）285-2251 Fax（054）283-0050
E-mail：fuji@fujitackle.com
http://www.fujitackle.com

FUJI製品についてのお問い合せは…
富士工業カスタマーサービス 0120-36-2251
受付：平日9：00～17：00
（土日祝日および夏期休暇・年末年始休暇は除く）

③ 鉄ノコで、パイプシートの
側面数ヶ所に切れ目を入れます。



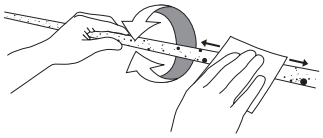
④ 切れ目にマイナスドライバーを
差し込んでコジ開けるか、
ペンチで挟んで取り除きます。



ブランクに残ったアーバーは、
カッターやペンチで、
内径調整用の糸はドライヤーで温めながら
定規の角を使ってそれぞれ取り除きます。

⑤ 仕上げにサンドペーパーでカスを取り除きます。

もう一方の手でブランクを
回しながら行う



ブランクの塗装 ～引き抜き式～

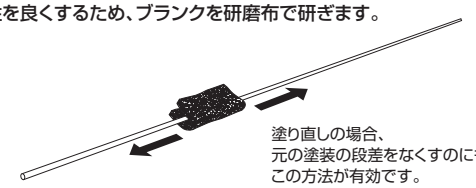
⚠ **警告：** ツールを使用する前に、付属の取扱説明書をよく読んでから使用してください。

ブランク塗装の技が熟練を要することは言うまでもありませんが、ここに紹介するのは、あるプロショップ様が用いている、ツールなども比較的手軽な方法です。
また、これ以外にもエアブラシを使ったり、ロッドビルダーによって色々な方法が行われています。

ツール

⚠ **警告：** ・シンナーおよび塗料を使用する際は、
十分な換気をしてください。
また火気にも注意してください。

①塗料の密着性を良くするため、ブランクを研磨布で研ぎます。



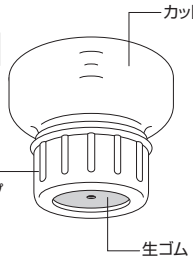
塗り直しの場合、
元の塗装の段差をなくすのにも、
この方法が有効です。

シンナーを使い、きれいに拭きます。

②ポリ容器と生ゴムシートを加工します。

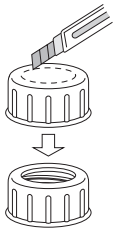
完成品

これが塗料の容器になります。

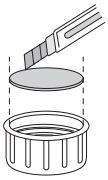


ポリ容器の本体をカット。

キャップのてっぺんを、
なるべくまん丸にカット。



真円の生ゴムが手に入らない場合は、
キャップの内径に
合うようにまん丸にカット。



※まん丸の生ゴムは、
市販品も有ります。

生ゴムの中心に穴を空ける。

千枚通しの先を
まっ赤になるまで
炎で熱し、

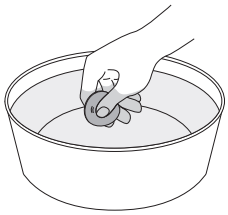
※ヤケドにご注意ください

生ゴムの中心に
垂直に
まっすぐ刺す。

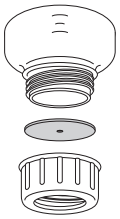
※穴の大きさの目安は、穂先径の
6割くらい。
これにより、千枚通しを使うか、
または求める穴の大きさに合う
縫い針を使うかを決めます。

⚠ **注意：** ・縫い針の際は、ヤケドをしないよう
革手袋、ペンチを使用してください。

※穴が空いたら生ゴムをシンナーに漬け、穴の周囲に残ったカスや表面のドロドロを指でこすって洗います。
シンナーに漬けると生ゴムはいったん大きくなりますが、やがて元の大きさに戻ります。



出来た3つを組み合わせれば、
塗料容器の完成です。

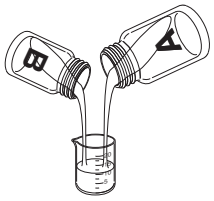


③ 塗料を作ります。

塗料を計量カップに入れ、よくかき混ぜる。

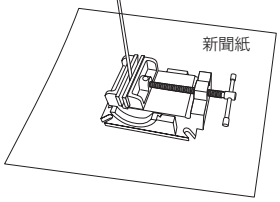
※混合比、可使時間、乾燥時間など、
必ず取扱説明書の指定にしたがってください。

混合直後から硬化がどんどん進む二液性エポキシコーティング剤などと違い、二液性ウレタン塗料は、製品によって、混合後ある程度の時間を置いてから塗ったほうが、仕上がりが良くなる場合がありますので、1回の使用料なども含め、お求めのプロショップ様、あるいは塗料の製造メーカー様におたずねください。

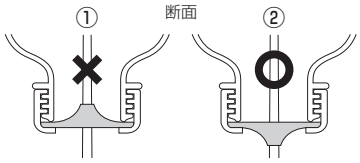


④ ブランクを万力にセットします。

穂先を上にして、ブランクを万力にまっすぐ立て、
穂先から通した塗料の容器をいちばん下まで降ろします。

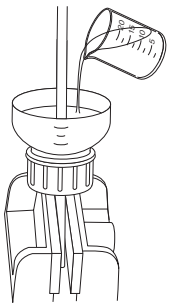


この時、キャップ内の生ゴムの中心は、
上に引っ張られて①のような状態となりますが、
生ゴムとブランクの間に塗料がうまく入り込むように、
容器を少し持ち上げて②のように調整します。



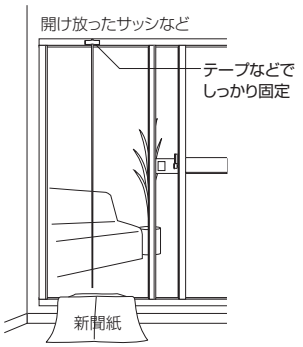
⑤ いよいよ塗ります。

容器に塗料を移し、



しゃがんだ姿勢から、
立ち上がり、
容器をひと息に
持ち上げ、
そのまま容器を
穂先から外します。

※使った生ゴムは1度で捨てず、何度か使ったほうが馴染む場合があります。



塗装後、液ダレが起こりやすいのは穂先部です。
その処置として、塗装に触れないスペースに
穂先を下にして吊り下げ、乾燥を待ちます。

●クリア系塗料は、ブランクの地肌が見え、
仕上がりもキレイです。
●白色をキレイに仕上げるのは難度が高く、
馴れるまでは乾いては塗り、乾いては塗りを
数回行わなければならないことが多いです。
失敗したらシンナーで塗料を拭き取って
再チャレンジ!
●完成色を赤や黄にする場合は、
下地に白を塗らないと、狙いの色が出にくいです。
●使用した容器は、残った塗料を乾燥させてから
取り除きます。きれいに塗料がはがれ、簡単に
きれいにすることができます。
●使った生ゴムは1度で捨てず、何度か使ううちに
穴とブランクとの馴染みが良くなることがあります。
その場合、使用後シンナーに漬け、
塗料をキレイに拭き取って保管します。

ロッドコンポーネントを取り付ける前に……

ブランクのスパイン出し

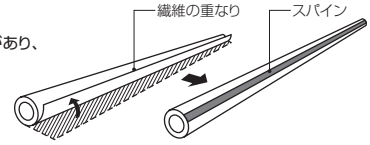
ツール

マスキングテープ

ペン

ブランクの背骨

ブランクには、肉厚で最も反発力が強い「スパイン」と呼ばれる部分があり、
ロッドコンポーネントは、このスパインを基準として取り付けます。



ブランクの断面
（イメージ）

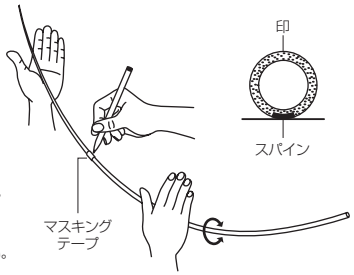
※実際のスパインは真直ぐではなく、スパイラル状に入っているものや、また複数のスパインが見られるものがほとんどです。
一般的には一番強いスパインの向きを基準にガイドをセッティングします。

スパインの見つけ方

① バット部のスパインを重視した見つけ方

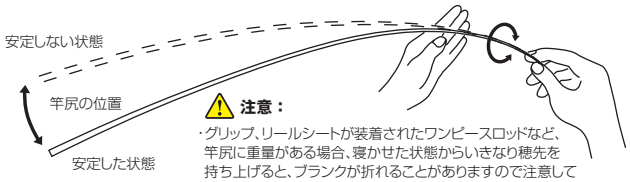
竿尻を床や机の上に置き、
竿先を手の平に乗せます。
次にもう一方の手の平でブランクを
押しながらゆっくり回すと、
クルッと反発するところがスパインです。
この時スパインは真下にありますから、
その正反対にあたる真上に仮りの印を付けます。

⚠ **注意：**・力を加えすぎてブランクを
折らないよう注意してください。



② ティップ部のスパインを重視した見つけ方

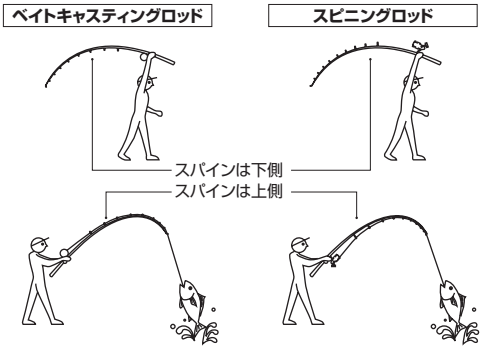
右手で竿先を持ち、左手で穂先部を支えるようにします。
右手でブランクをゆっくり回転させると、ブランクが安定して止まるところと、
安定しないで回転しようとするところがあります。これはスパインがあるためです。
このとき竿尻は、安定する状態で最も低く、安定しない状態で最も高い位置になります。
これは、安定する状態では竿の側面に、不安定な状態では竿の上面に
それぞれスパインがあることを示しています。



⚠ **注意：**
・グリップ、リールシートが装着されたワンピースロッドなど、
竿尻に重量がある場合、寝かせた状態からいきなり穂先を
持ち上げると、ブランクが折れることがありますので注意して
ください。

●スパインとロッドコンポーネントの位置関係

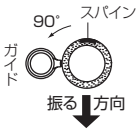
一般的には、ベイトキャスティングロッドの場合はスパイン側に、
スピニングロッドの場合はスパインの反対側に、それぞれガイドを取り付けます。



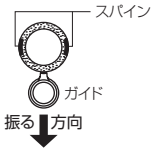
こうすればキャスト時のスパインはロッドの下側になり、ロッドがネジレずまっすぐ
振ることができ、しかも魚を釣り上げる時のスパインはロッドの上側になるので、
ロッドパワーが最大限に生かされる、という考えです。

しかし、このような考え方もあります。

a) 軟らかいベイトキャスティングロッドの場合、スパインの90°横に
ガイドを取り付けるセッティングが有ります。
これは、キャスティング時に、スパインがブランクの上になる様にし、
キャストの方向性を安定させる考え方です。



b) フライロッドや軟らかいスピニングロッドの場合も、スパインの
90°横にガイドを取り付けるセッティングが有ります。
これは、スパインが複数見られる場合、曲がりやすい部分にガイドを
取り付け、両サイドを硬くする事でブレを抑えるという考え方です。



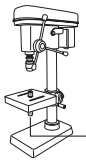
上記の様に、基本は、「ベイトは背に、スピニングは腹に。」ですが、ご使用になるブランクの特性、
使用目的に合わせてスパインの位置を基準にガイドのセッティングを行って下さい。

⚠ **警告：** ここでご紹介する手順は、ボール盤という、あまり身近にない電動工具を用いた例です。
また、ボール盤に取り付ける軸や軸受けが不適切な場合、回転中に軸がブレて非常に危険です。
不慣れな方は、作業の前に必ずプロショップ様にご相談ください。
※長いグリップを加工する場合は、特にブレやすいので、十分ご注意ください。

グリップ素材の形状加工 ～ボール盤を使った場合～

ツール

防護メガネ

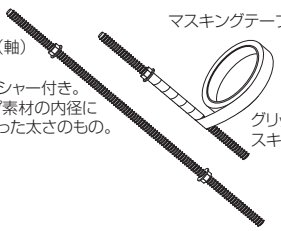


ボール盤

⚠ **警告：**・取扱説明書を
よく読んでから
使用してください。

軸受け

これはコルクグリップを改造した例。
ここに長ねじを通してブレを防ぐ。
ボール盤の受け台の穴に
キツめのもの。



スパナなど

※長ねじのナットを
締めるもの。

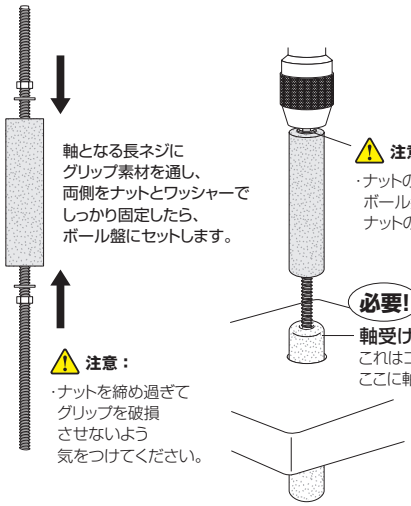
サンドペーパー

以下の番手が、おおよその目安です。

	EVA	コルク
形を作る	40番	80番
↓		
形を整える	80番	180番
↓		
表面を磨く	100番	240番

※良質なコルクの場合、240番のあと、
さらに320番を使う。

例えば、このフォーグリップを…　　…こういう風にしたい場合…



●安全について万全の準備が整ったら、ボール盤の電源をONにして回転させ、
グリップ素材にサンドペーパーを当てて削ってゆきます。

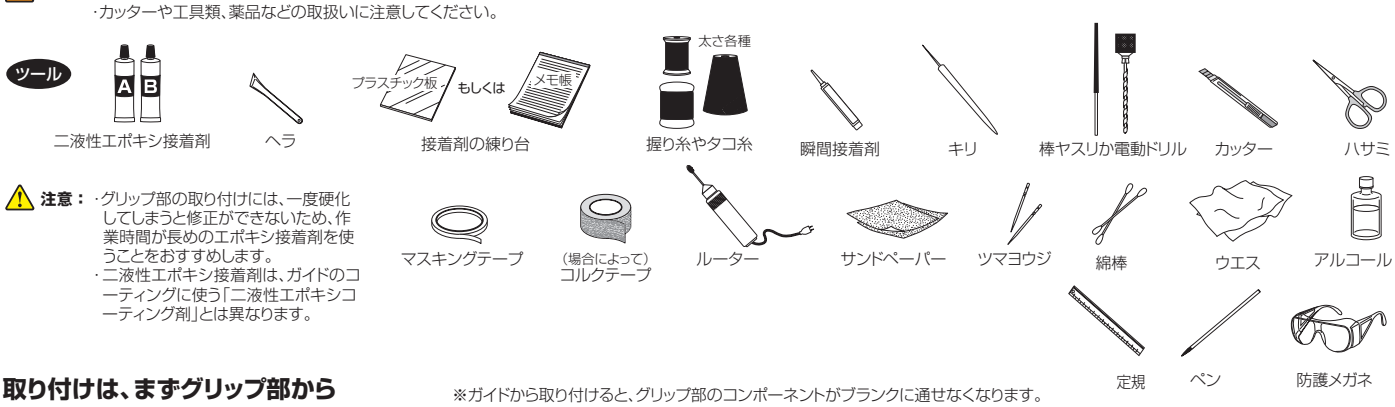
警告：
・軸に巻き込まれる恐れがあるため、
手袋を着用しないでください。
また袖など、着衣が巻き込まれないよう
十分気をつけてください。
・グリップ加工時は必ず防護メガネをし、
目を保護してください。
・作業中に軸がブレはじめたら、危険なため、すぐに
電源を切り、機械の回転を止めてください。

・使うサンドペーパーは、はじめは目の粗いもの、
そして順に目の細かいものに3～4段階に分けて
変えてゆきます。

・ほんの少しの加工なら、電動工具を使わず、
カッター&サンドペーパーという手作業が
安全ですが、なかなか上手くいきません。
・グリップ加工には、旋盤機も多く活用されています。

グリップ部の取り付け

警告：・ツールを使用する前に、付属の取扱説明書をよく読んでから使用してください。
・カッターや工具類、薬品などの取扱いに注意してください。



注意：・グリップ部の取り付けには、一度硬化
してしまうと修正ができないため、作
業時間が長めのエポキシ接着剤を使
うことをおすすめします。
・二液性エポキシ接着剤は、ガイドのコ
ーティングに使う「二液性エポキシコ
ーティング剤」とは異なります。

取り付けは、まずグリップ部から

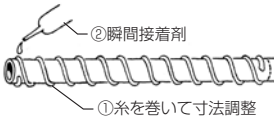
※ガイドから取り付けると、グリップ部のコンポーネントがブランクに通せなくなります。

組み合せ例

●取り付け前に、各コンポーネントをブランクに通して仮組みし、
ブランクへのマーキングと加工・寸法調整のプランを立てましょう。
●慣れないうちは、ひとつずつを確実に接着し、それが固まったら次へ、
という具合に、アセらずに工程を進めましょう。
●取り付け前に、ブランクをアルコールで拭きましょう。
●ハミ出した接着剤は素早く取り除き、その跡をすぐにアルコールで拭きましょう。

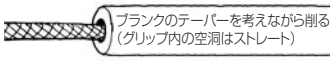
リアグリップの接着

① **ブランク径とグリップ内径寸法に
スキ間があれば、糸を巻いて調整しますが、
この場合、ブランクのテーパーを考え、
スキ間の大小によって糸の太さを変えます。**
※細い糸を何重にも巻き重ねないように
※接着剤が行き渡るよう、糸は密に巻かず、
少しスキ間を空けて巻く。

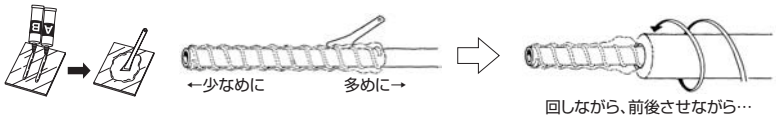


② **グリップを押し込んだ時に、
糸がズレて一方に寄ってしまわないように、
ところどころを瞬間接着剤で固定します。
糸を巻くのは寸法調整のためだけでなく、
グリップを押し込んだ時、接着剤が均等に
残るようにするためでもあります。**

逆に、グリップ内径よりブランク径のほうが
大きい場合は、グリップ内径を棒ヤスリで削る。

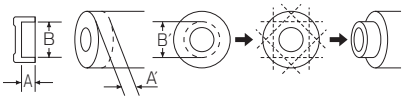


③ **二液性エポキシ接着剤を塗り、
グリップを回しながら押し込みます。
はみ出した接着剤はすぐ拭き取り、
はみ出しそうな余分は先に取り除きましょう。**



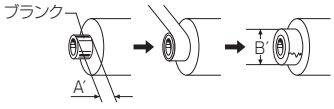
バットキャップの接着

①-A グリップに接着する場合



A'B'の印に沿って
グリップの外径をカッターで注意深く切り取ります。

①-B ブランクに接着する場合



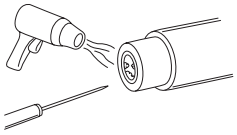
ブランク(A'部)にマスキングテープや
コルクテープを巻いて寸法調整します。

② 二液性エポキシ接着剤を…

キャップ側に塗ると合わせ目が
しっかり接着できなかったり、
ブランクの内側に入り込んでしまいます。

バットプレートの接着

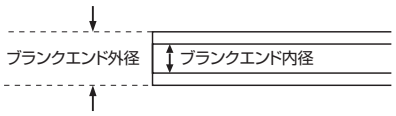
① **もし、ブランクエンドに
接着カスが残っていれば
ドライヤーで温め、
キリで取り除きます。**



② **サイズの合うバットプレートを
グリップエンドに接着します。**

ウェイトバランサーの接着

※注意 ●ソリッド竿のように中空でない竿には、以下3つのウェイトバランサーは取り付けられません。
●FUJIウェイトバランサーが取り付け可能な竿には、それぞれ以下の条件が必要です。
TWBC・・・・ブランクエンド内径4.5mm以上、外径21.0mm以下であること
EWBC・・・・　〃　内径5.0mm以上、外径21.0mm以下　〃
WBC・・・・・　〃　内径4.6mm以上、外径17.0mm以下　〃



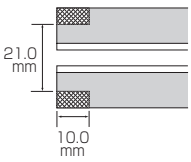
●外嵌(はめ)式の場合

TWBC

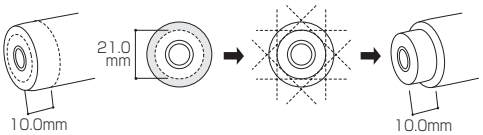
EWBC

※以下、グリップの加工寸法と作業手順は、TWBC･EWBC共通です。

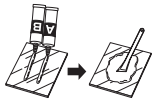
① カッターを使い、グリップエンドの斜線部分をカットします。



点線に沿って、注意深く切り取ります。

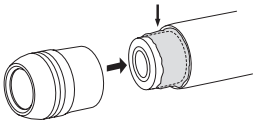


② ウェイトバランサーをグリップに接着します。

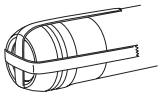


二液性エポキシ接着剤

接着剤はグリップ側に付けます

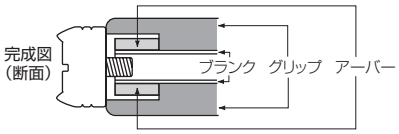


テープで固定。



●内嵌(はめ)式の場合

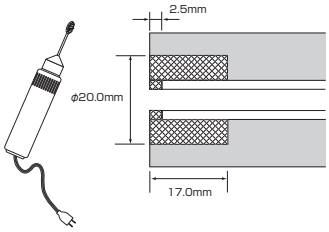
WBC



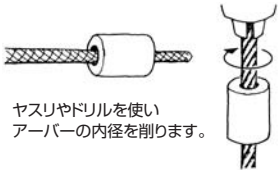
⚠ **警告：** ルーターまたは電動ドリルを使用する際は、必ず防護メガネを着用し、目を保護してください。また、手を巻き込まれる恐れがあるため、決して手袋を着用しないでください。

⚠ **注意：** ルーター、ドリル、カッターの刃で手を切らないように注意してください。

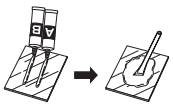
① ルーターで、斜線部分のグリップとブランクを削ります。



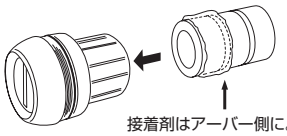
② アーバーの内径を、ブランクエンドの外径に合わせて削ります。
アーバーは、FUJIアーバーのCA-17をお奨めします。


ヤスリやドリルを使い
アーバーの内径を削ります。

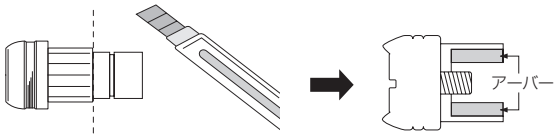
③ アーバーをWBCの内側に接着します。



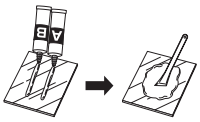
二液性エポキシ接着剤


接着剤はアーバー側に。

④ 接着剤が乾いたら、アーバーをWBCの長さに合わせ、カッターなどで切ります。

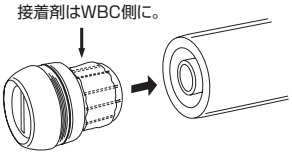


⑤ WBCをグリップに接着します。

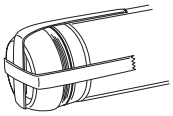


二液性エポキシ接着剤

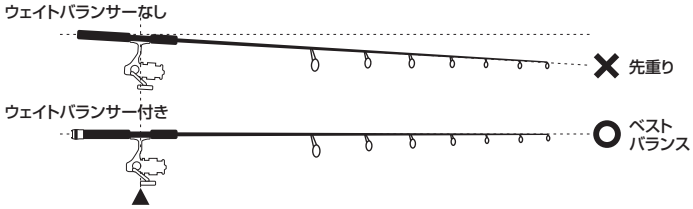
接着剤はWBC側に。



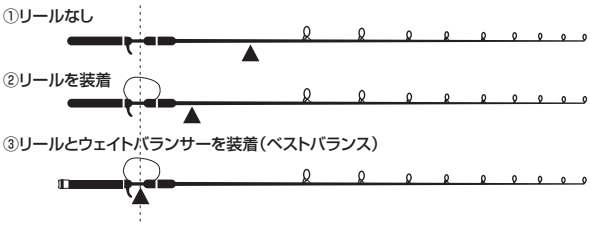
テープで固定。



ウェイトバランサーとは



▲=支点(リール位置)



たとえ軽いロッドでも、ティップが先重りしていれば、長時間の釣りでは手首や腕が疲れやすくなります。この場合、グリップエンドにウェイトバランサーを取り付けてロッドのバランスを調整すると、ロッドの総重量は重くなりますが、実際の釣りでは逆にロッドが軽く感じ、疲れが少なくなります。つまりウェイトバランサーは、ロッド重さの釣り合いをとるためのコンポーネントです。

③のように、リール位置がロッドの支点になるようにウェイトバランサーを取り付けます。取り付けるウェイトは、リールが軽ければ軽めに、リールが重ければ重めに調整します。FUJIウェイトバランサーなら、このウェイト調整が簡単なため、たいへん便利です。

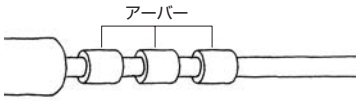
持ち重り解消 ロッドが軽く感じ、長時間の釣りがラクに!

感度アップ ティップが軽く感じることで、よりアタリに敏感に!

操作性アップ バランスアップで、キャストからランディングまで、ロッドの操作の精度もアップ!

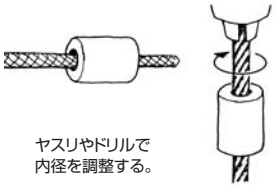
パイプシートの接着

① 寸法調整とアーバーの接着
ブランク径とパイプシート内径とのスキ間が大きい場合は、
この例のようにアーバーを使います。
マスキングテープやコルクテープを用いても便利ですが、
がっちりシートを止めるなら、アーバーがベストです。



二液性エポキシ接着剤でブランクに固定。

アーバー内径が小さい時

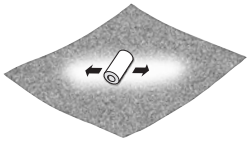


ヤスリやドリルで
内径を調整する。

アーバー内径が大きい時

グリップ同様、糸を巻いて
瞬間接着剤で固定。

アーバー外径が大きい時



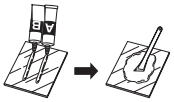
サンドペーパーで
アーバー外径を削る。

警告： ·電動ドリルを使用する際は、必ず防護メガネを着用し、目を保護してください。
また、手を巻き込まれる恐れがあるため、決して手袋を着用しないでください。

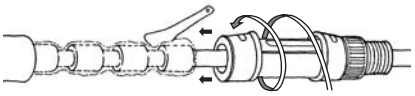
注意： ·ドリルの刃で手を切らないように注意してください。

② アーバーの接着剤が乾いたら、パイプシートも接着します。

二液性エポキシ接着剤



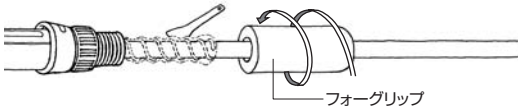
※リール装着面を、設定したガイドの
取り付けラインに合わせます。



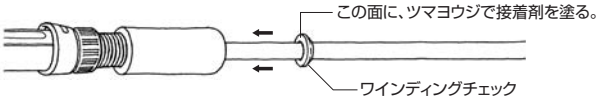
全体に接着剤が回るように、パイプシートをゆっくりまわしながら、
押し込んだり戻したりしながら最後に向きを合わせます。

フォーグリップ、メタルパーツの接着

●フォーグリップ
リアグリップと全く同じ要領で、必要に応じて寸法調整したのちに、
二液性エポキシ接着剤で取り付けます。



●メタルパーツ（この場合は、固定式フォーグリップ用ワインディングチェック）
図の面に二液性エポキシ接着剤を付け、フォーグリップの先端に接着します。
固まるまで、マスキングテープで固定します。



ガイドの仮り止め

警告： ツールを使用する前に、付属の取扱説明書をよく読んでから使用してください。

ツール

目の細かい
ヤスリ

目の細かい
サンドペーパー

ウエス

アルコール

二液性
エポキシ接着剤

※二液性エポキシ接着剤は、
ガイドのコーティングに使う
二液性エポキシコーティング
剤とは異なります。

ヘラ

プラスチック板

もしくは

メモ帳

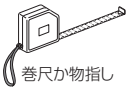
接着剤の練り台

マスキング
テープ

カッター

ハサミ

このロッドで
使うリール

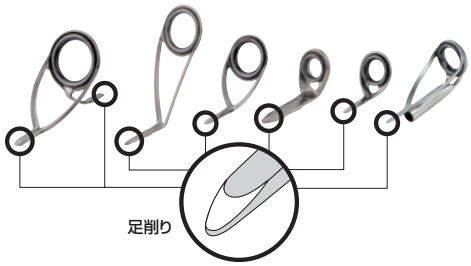


巻尺か物指し

ガイドの足削り

ガイド足の先端が斜めに削ってあると、ブランクとガイドの段差が減り、
スレッド乗りが良くなります。

●現在のFUJIガイドは、すべて表面処理前に足削り加工を
施してありますので、この工程をほぼ省くことができます。



足削りしていないと…

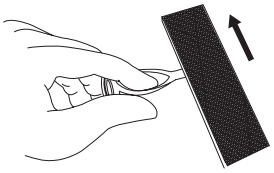
足先端部がきれいに
仕上がりません。

足削りしてあると…

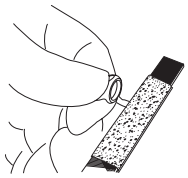
巻いてる糸がスムーズに
ガイド足に乗ってゆきます。

注意： ヤスリで手を傷つけない
ように注意してください。

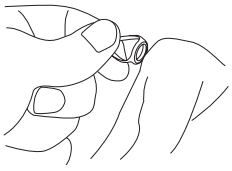
まだ足削りしてない場合、
ガイドをしっかり固定し、
足先の斜面に沿って、グッ、グッと
ヤスリを向こうに押すように削ります。



さらにサンドペーパーで仕上げ…
（サンドペーパーを
ヤスリに巻きつけた例）



金属粉をすべて取り除き、
アルコールで拭きます。



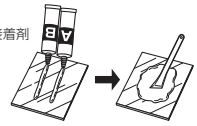
注意：
·ブランクやスレッドをキズつけないよう、刃物のように鋭く削らないでください。
·削りカスの金属粉は、ガイドからすべて取り除いてください。残っていると、腐食の原因となります。

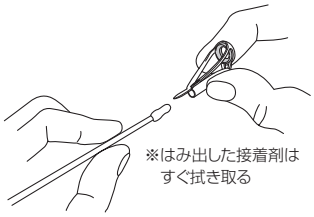
トップガイドの接着

トップガイドだけは、この段階で接着します。

ブランク径に合ったトップガイドを、
向きを間違えないように接着します。

二液性エポキシ接着剤





※はみ出した接着剤は
すぐ拭き取る

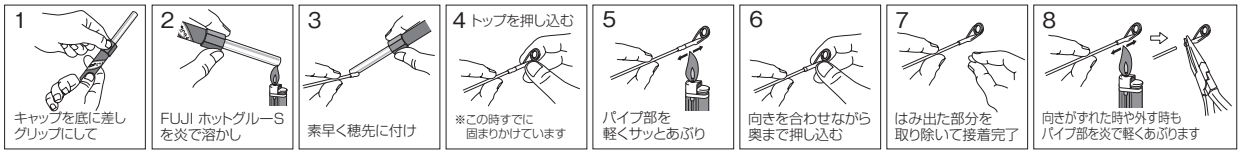
※リングが、設定したガイドの
取り付け側になる様に。

※回しながら差し込み、リールシートに
向きを合わせる。

あくまで応急用の強度ですが、「FUJI ホットグルーS」が釣り場にあれば、トップガイドの着脱に便利です。熱溶解性の固形接着剤で、炎で加熱するだけですぐ溶け、2〜3分で硬化します。

NEW Fuji ホットグルーS

SGLUE

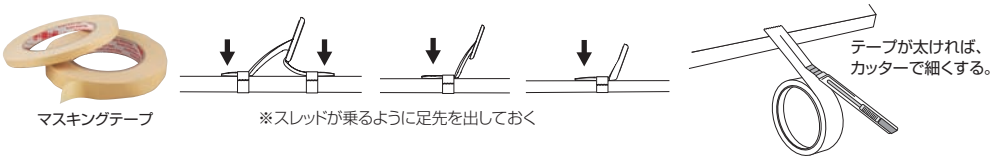


※金属トップガイド専用です。　※ULトップとULMガイドにはご使用になれません。

⚠ **注意：**あぶり過ぎるとブランクが焼けてしまうため、注意してください。

ガイドの仮り止め

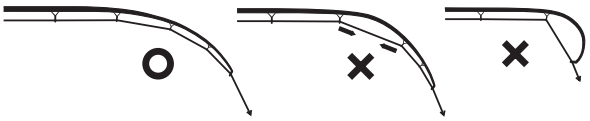
トップガイドの接着剤が乾いたら、マスキングテープを使って第1ガイドから順にバットガイドまで仮り止めしてゆきます。
総合カタログまたは当社サイトのカタログコーナー『**参考ガイドスペック**』をご覧ください。

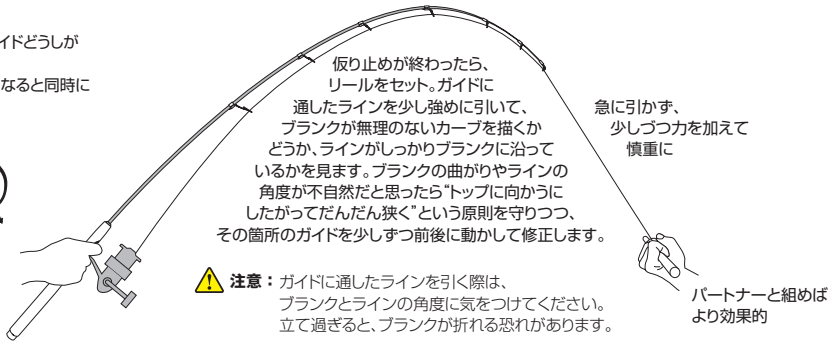


ブランクの曲がりテスト

スレッドを巻く前に、ブランクとガイドポジションの相性を確かめましょう。

ガイド位置は、ブランクのアクションに応じて決める必要があります。配置を誤ると、ガイドどうしが絞られる方向に力が働き、ブランクが折れやすく、ライン抵抗も大きくなります。
ガイドをバランスよく配置すれば、ブランクにかかる応力をうまく分散でき、折れにくくなると同時にガイドを通るライン角度は小さくなり、ライン抵抗も少なくなります。



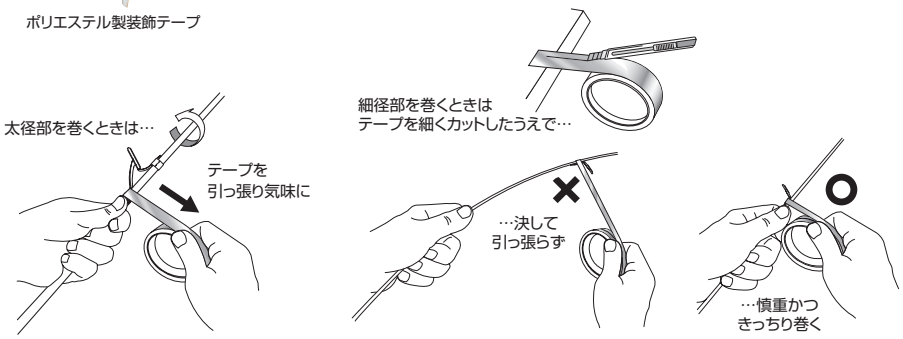


⚠ **注意：**ガイドに通したラインを引く際は、
ブランクとラインの角度に気をつけてください。
立て過ぎると、ブランクが折れる恐れがあります。

装飾テープを使ったキャスティングテスト

ポリエステル製装飾テープ

最終的にガイドを取り付けてしまう前に、どうしても飛距離その他が気になる…という場合、ポリエステル製の装飾テープを使って試してみるという方法があります。
装飾テープの巻き方のコツは、太いブランク、あるいはブランクの太径部では多少強めにテープを引っ張り気味に巻くことですが、特に中間より先の細径部では、テープを細くカットしたうえで、決して引っ張らず、ブランクを折らないよう細心の注意を払いながら慎重にきっちり巻くことです。
この装飾テープ、しっかり巻けば、テープ止めとは思えない固定力を発揮します。



SGLUE

トップガイドの仮り止めにはこれが便利
NEW Fuji ホットグルーS
●使用法は、このページの最上段をご覧ください。

●ブランク破損と危険を防ぐために!

※キャスティングテストをする前に、必ず上記の曲がりテストをしっかり行う。
※細径部でのテープ巻きは、ゆっくり慎重に。
※あくまで仮り止めであることを忘れず、テストでは100%の力で投げない。
※シングルフットガイド、特に穂先用は足が抜けやすいので注意。
※ガイドの移動は少しづつ。いきなり大きく移動させると、ブランクによっては折れる危険性あり。
※ガイドを既存スペックよりもリールに近づけて試す場合は、あくまで自己責任で行う。
※キャストは安全な場所で、しかも必ず周囲に注意してから投げる。

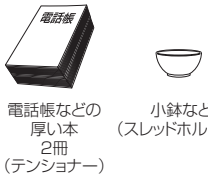
ガイドの巻き方　〜WRAPPING〜

ツール　⚠ **警告：** ツールを使用する前に、付属の取扱説明書をよく読んでから使用してください。

あれば便利!

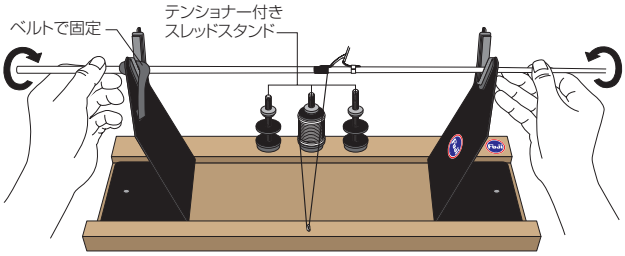
NEW RRM2
ハンド・ロッドラッパー
●通販の詳細はP.23をご覧ください。

なければ…



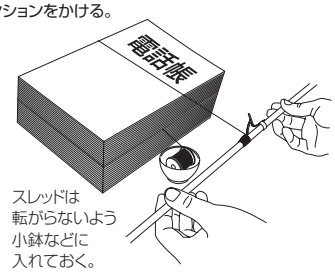
電話帳などの
厚い本
2冊
（テンショナー）
小鉢など
（スレッドホルダー）

専用のハンド・ロッドラッパーがあれば、均一なテンションでスレッドが巻け、しかも作業途中で手が離せるというメリットがあります。

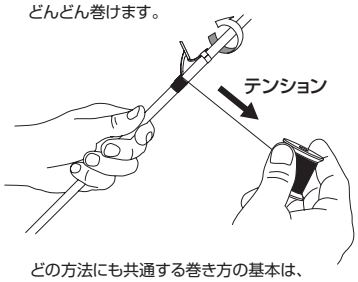


もしハンド・ロッドラッパーがなければ……

電話帳などの厚い本の間にスレッドを通してテンションをかける。



馴れると、何も使わず
どんどん巻けます。



どの方法にも共通する巻き方の基本は、
糸にテンションをかけながら手でブランクを回し、
糸どうしが重ならないように巻くことです。

① 抜き輪を作る
15cmくらいに切り、結ぶ。

② 決めた位置に
糸を×字に交差させ…

糸端を
横に寝かせ、

糸端を
押さえ込むように
巻いてゆく。

※イラストはイメージです。
実際の糸と糸は密着しています。

③ 巻き始めは、寝かせた糸端が
滑らないように交差部分を
指で押さえながら巻く。

巻き目にすき間が
できないよう、「寄せ角度」
をつけながら進めてください。

巻きの進行方向

※以降も、
ほどけないように
必ず巻き糸に
指を添える。

寄せ角度

④ 5〜6周したら糸を強めに引っぱり、
あらためて巻き始めの位置を固定する。

⑤ 糸のスキ間や位置ズレは、
爪で押して詰めたり、糸寄せで補整する。

糸寄せ

⑥ ハミ出している糸端を切る。

※糸の真上から
刃を軽く押しあてる

⚠ **注意：** カッターの刃を強く押し
あてると、ブランクを傷
つけてしまいます。

⑦ 巻き糸がガイド足に登り、
さらにテープに近づいたところで
仮り止めテープをそっとはがす。

⑧ 残り6〜7周くらいのところで、
抜き輪をはさむ。

※足のすぐ横は、糸がゆるみやすい
ため、抜き輪は少し離して
はさみ込んでください。

⑨ 足をすべて巻き終えたら、
4〜5cm残して巻き糸を切る。

4〜5cm

巻くのは、足いっぱいまで。
ブリッジまで巻き上げると、
巻き糸がユルんだり、
糸切れの原因となります。

⑩ 巻き糸の端を抜き輪に通す。

⑪ 抜き輪を引っぱる。

巻き糸がほどけないように
片手で糸端を
引っ張りながら。

⑫ 糸の端が、巻き糸とブランク
の間に引き込まれ……

⑬ 引き出される。

⑭ 引き出された糸を根元から切る。

いったん矢印側に引いて
糸と糸の間に
すき間を作り…

今度は逆に引っ張りながら
刃をタテに押しあてて
糸の根元を切ります。

※他の糸を切らないように。

ハサミも使えます

・ブランクに刃を当てずに済む。
・下巻きがある場合、キズつける
心配が少ない。

先細で
よく切れるもの

引っ張りながら
切れば、糸端は
中に隠れます

※少しでも糸端が出ていると、
コーティング剤で固めた際、
突起になるので注意。

⑮ 反対側も同じ方法で巻く。

こちら側から
巻く

⑯ 金属工具などの滑らかな部分で
巻き糸をこすり、段差をならしたら巻き終わり。

通常のパイプ型トップは、しっ
かり接着してあればスレッド巻
きやコーティングの必要はあ
りませんが、ブランクとの段差
が気になるなら、パイプ直前ま
で巻くか、パイプ部の端だけ
覆いましょう。

足縛り式トップは、パイプ直前
まで巻きます。

ブリッジ
パイプ
ブリッジ
足
パイプ

NEW
KBガイド　**KT**ガイド

窓
窓

前方に
スレッド巻き
不要

足側　前方

従来シングルフットガイドの場合、ガイドの裏側にもラッピング&
コーティングをして足抜け防止やフレーム強度アップを図りますが、
KBと**KT**は、足側に塗ったコーティング液が「窓」を通じてフレーム前
方にも行き渡ることでそれ以上の効果が得られるため、スレッドを前
方に巻く必要がありません。

★シングルフットガイドの抜け防止・強度アップのために

足をすべて
巻き終えたら…

そのまま糸をガイドの
裏側へもってゆき…

巻いては…

寄せる、
を繰り返し

2〜3周巻いたら
抜き輪をはさみ…

さらに6〜7周させたら
巻き糸を4〜5cm残して
切ります。

4〜5cm

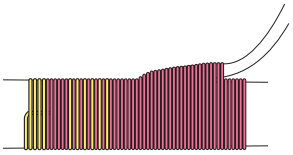
あとは上記
⑩〜⑯と同じ。

ハンド･ロッドラッパーを使って

2色の糸で巻く

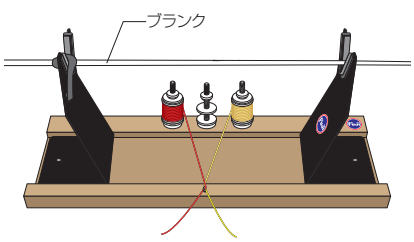
ハンド･ロッドラッパーを使えば、複数の色の糸でラッピングができます。
ここではその初歩として、2色の糸を使った巻き方を紹介します。

これを例にします。
使う糸は、赤と黄です。



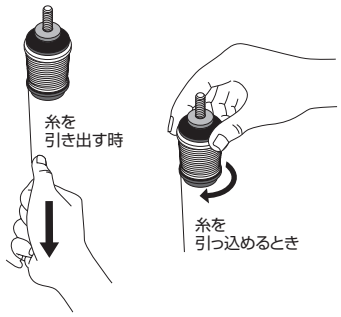
黄4周→赤6周→2本同時5周→あとは赤

まず、ハンド･ロッドラッパーにこのような準備をします。

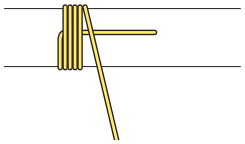


フックに2本の糸を通します。

作業中の糸の出し入れは…

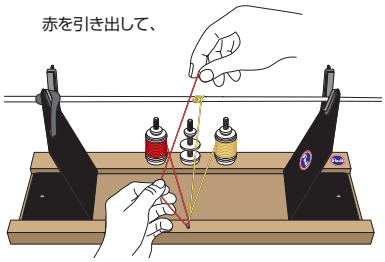


①まず黄を4周巻いたら、
このテンションを保ったまま、

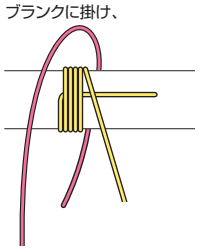


②つぎに赤を6周巻きます。

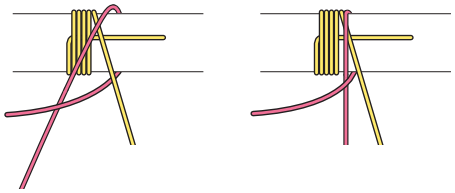
赤を引き出して、



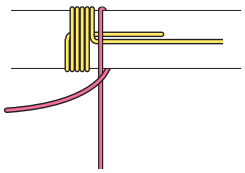
ブランクに掛け、



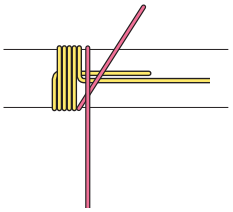
赤の本線と黄の本線の間に黄の端糸を通し、



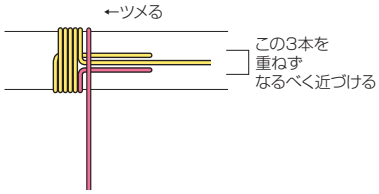
黄の本線を少しゆるめて
横に寝かせ、



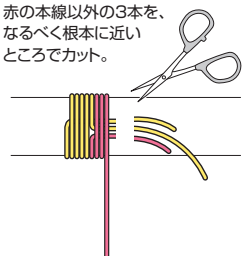
赤の端糸も横に寝かせ、



横になった3本を
赤の本線で押さえるように巻く。

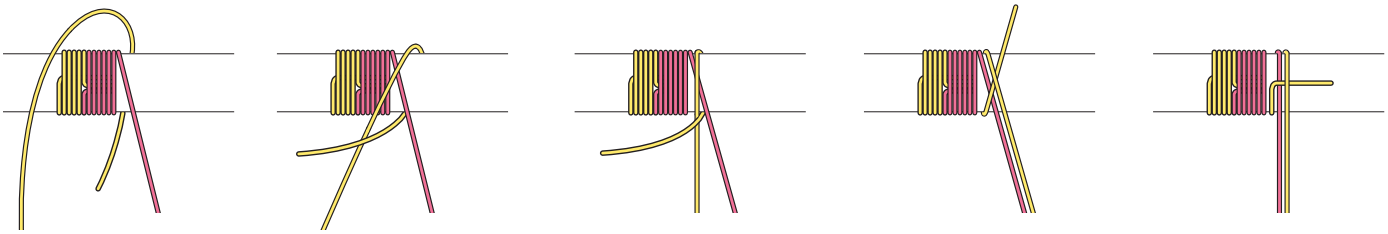


赤が2～3周して他の糸の押さえが効いたら、
赤の本線以外の3本を、
なるべく根本に近い
ところでカット。

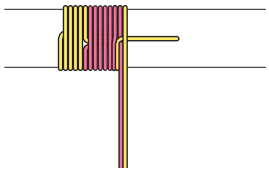


※図では省いてありますが、
糸どうしの交点が
ほどけないことが肝心なので、
指でしっかり押さえるか、
馴れないうちは
テープ止めしましょう。

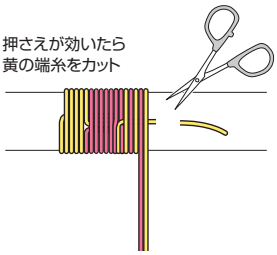
③赤が6周したら、②のはじめと同じ要領で
ふたたび黄をセットし、2本同時巻きの準備をします。



ここから2本同時に5周巻きます。

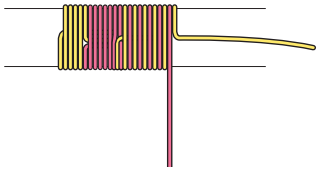


押さえが効いたら
黄の端糸をカット

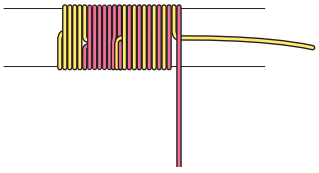


④2本同時巻きが5周したら、
最後に赤に戻ります。

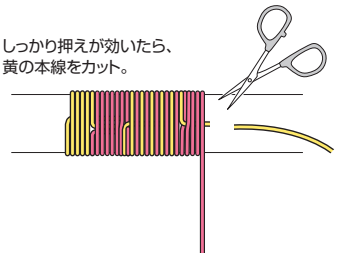
黄の本線を横に寝かせ、



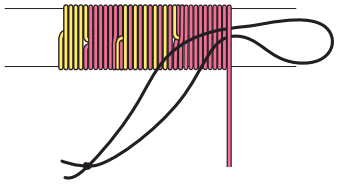
赤を巻いてゆき、



しっかり押えが効いたら、
黄の本線をカット。



終わりに近づいたら、あとの手順は
前頁と同じです。

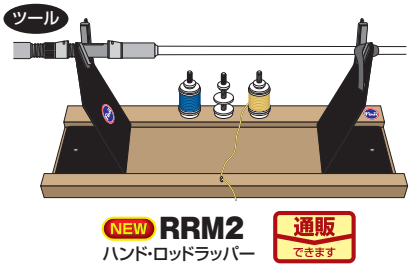


※ガイドへの巻き上げの説明も、ここでは省きます。

飾り巻き

DECORATIVE BUTT WRAPS

飾り巻きは、巻き糸によって作る模様のことで、主にロッドのバットセクションの装飾に用いられ、カスタムロッドによりいっそうのオリジナリティを加えることができます。
そもそも実用面では、ボートロッドのバット部を船べりとの接触やブツケから保護する、あるいはロッドのジョイント着脱時のスベリ止めという役割もありました。
飾り巻きの技術には、ごく簡単なものから、とても複雑なものまでありますが、ここでは代表的な技法を取り上げ、それぞれの初歩を紹介します。
飾り巻きにおける糸端の処理や仕上げのコーティング方法は、ガイド取り付けの場合と同じですので、糸巻きは P.9～、コーティングは P.16～をそれぞれ参照ください。



●通販の詳細はP.23をご覧ください。

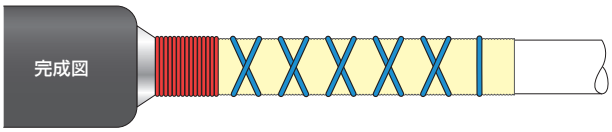
基本巻き

CROSS WRAPS

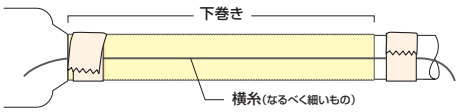
糸をグリップ側から穂先に向かって等間隔に螺旋(らせん)状に巻き上げ、ある地点で折り返したら、巻き上げた螺旋に交差させて巻き下げ、その端を固定巻き……
というように、この巻き方が飾り巻きの初歩となります。
装飾性はありませんが、初心者が飾り巻きのおおまかな仕組みを理解するための練習と捉えてください。

【使う糸】

※模様がシンプルな場合、飾り糸と固定糸は太めのものを使いましょう。
※固定巻きに使う糸があまり細かったり色が淡いと下層の糸が透けることがあります。

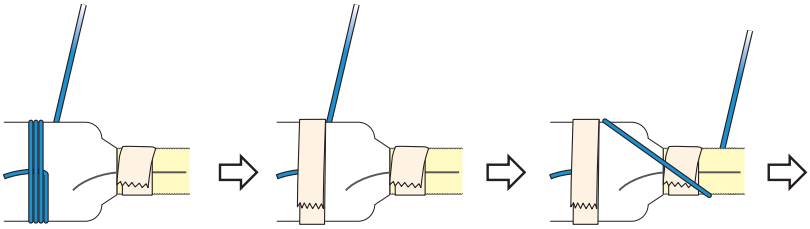


はじめに「下巻き」をします。これは、飾り糸を巻きやすくするためのスベリ止めにもなります。糸が重ならないように、スキ間ができないように密に巻きましょう。
つづいて、ロッド径のセンターに「横糸」をまっすぐ張り、両端をテープ止めします。真裏にも同じ要領で横糸を張ります。この横糸が、糸と糸との交点の目印になります。



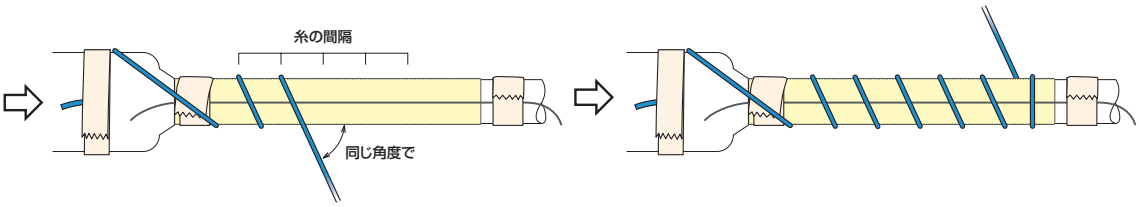
※横糸は、飾り巻きがある程度進んだ時点で抜きます。
※横糸ではなく、長さを計りながら水性ペンなどで点を打つ人もいます。
※この時、ガイドやリールシートの向きに注意してください。

飾り糸の端をフォーグリップに巻きつけ、テープ止めしたら、螺旋の巻き上げを始めます。

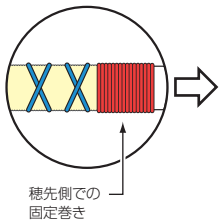


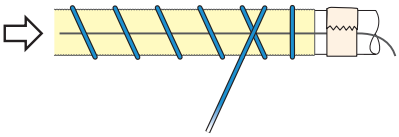
※糸を巻きつけてからテープ止めする人、糸端をテープ止めしてから巻きつける人、あるいは、巻きつけのみでテープを使わない人…と、それぞれですが、要は、糸のほどけ防止ですので、きれいに巻く必要はありませんが、しっかり巻きましょう。

糸と糸の間隔を決め、等間隔になるように一定の角度で巻き上げてゆき、決めた地点で折り返したら、こんどは逆向きに、糸と糸が横糸の地点で交差するよう、巻き上げ時と同じ角度で巻き下げてゆきます。

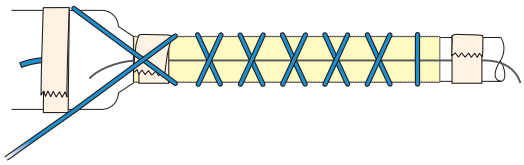


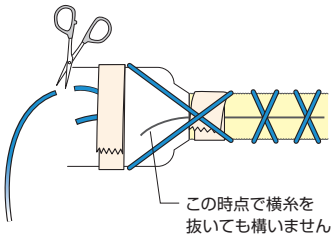
穂先側にも「固定巻き」をする場合は、下巻きを過ぎた所まで巻きつけ(テープ止め)を行なってから折り返します。





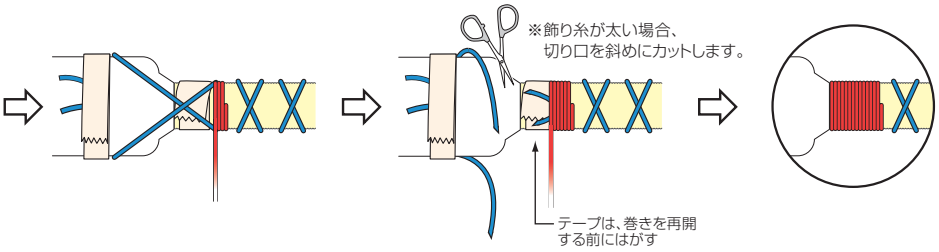
終わりまできたら、ふたたびフォーグリップに巻きつけ、テープ止めし、糸をカット。





つぎに、飾り糸の端を「固定巻き」します。

数周巻いたところで、最終的に端が出ない長さに飾り糸をカット。
途中で「抜き輪」をはさむことを忘れずに巻き進め、
終わりまで巻いたら、糸端を止めて完了。
穂先側で固定巻きする場合も、手順は同じです。



コーティング時の注意

飾り巻きは、糸の重なりが多いため、いきなり塗ると、気泡を生じやすいので、はじめにカラープリザーバーを塗り、二日間乾燥させて、念のためもう一度塗って、また二日間乾燥させてそれが完全に乾いてから、二液性エポキシコーティング剤を2回、3回と厚塗りするといいでしょう。
カラープリザーバーがない場合は、うすめ液で薄めた二液性エポキシコーティング剤をしっかり染み込ませながら塗り、乾燥したらまた塗り重ねることを心がけてください。

シェブロン巻き（2点シェブロン）

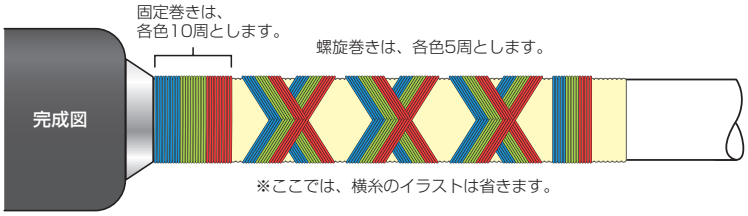
CHEVRONS

シェブロン巻きは文字通り、糸によって山型（矢羽根）の模様を作ります。この技法の特徴は、右なら右側だけ、左なら左側だけと、ひとつ前に巻いた糸に対し、常に一定方向へと螺旋（らせん）を沿わせていくことです。
ここではすべて右側に沿わせていくことにします。

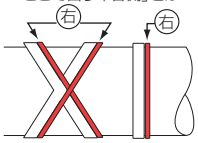
【使う糸】

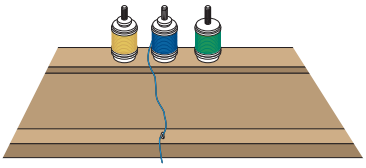
下巻き糸　飾り糸1　飾り糸2　飾り糸3

※飾り糸は、固定糸としても使います。



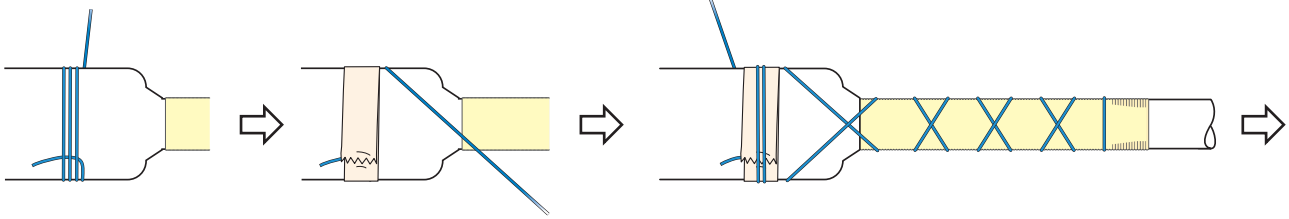
＊ ここで言う「右側」とは…





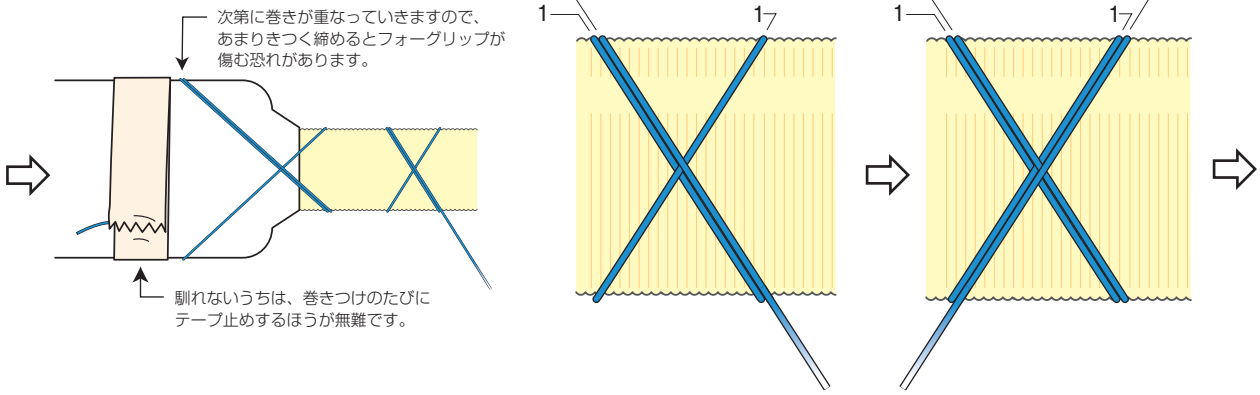
ハンド･ロッドラッパーなら、
いちどに3色セットできます。

下巻きが済んだら、青をフォーグリップに巻きつけ、螺旋の巻き上げを始めます。

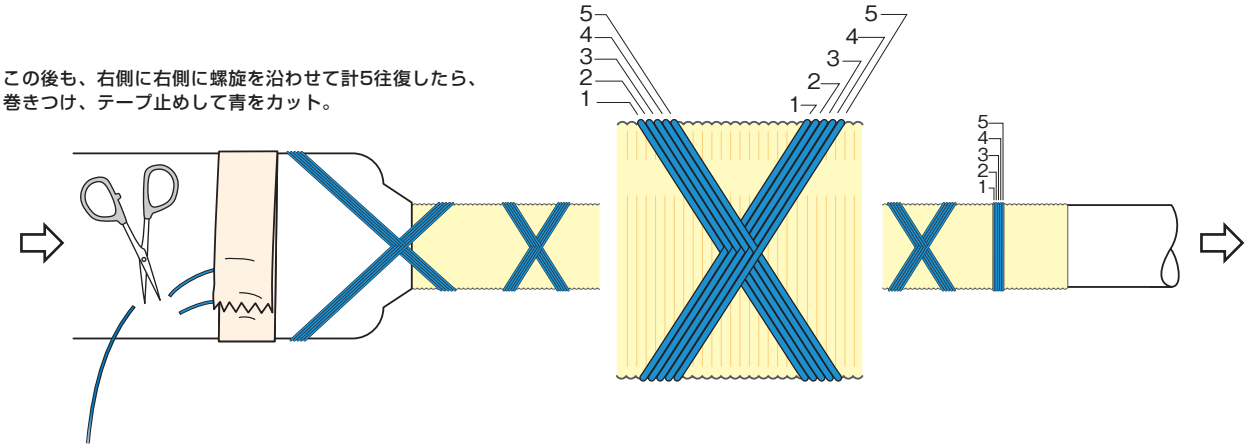


1往復したら、またフォーグリップに巻きつけ…

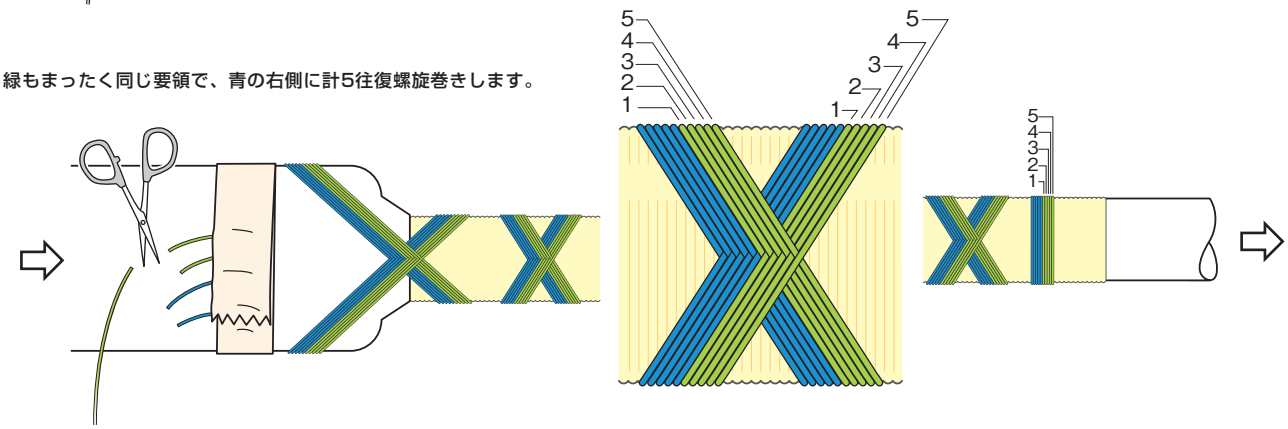
最初に巻いた青のすぐ右側にぴったり沿わせて２往復目。



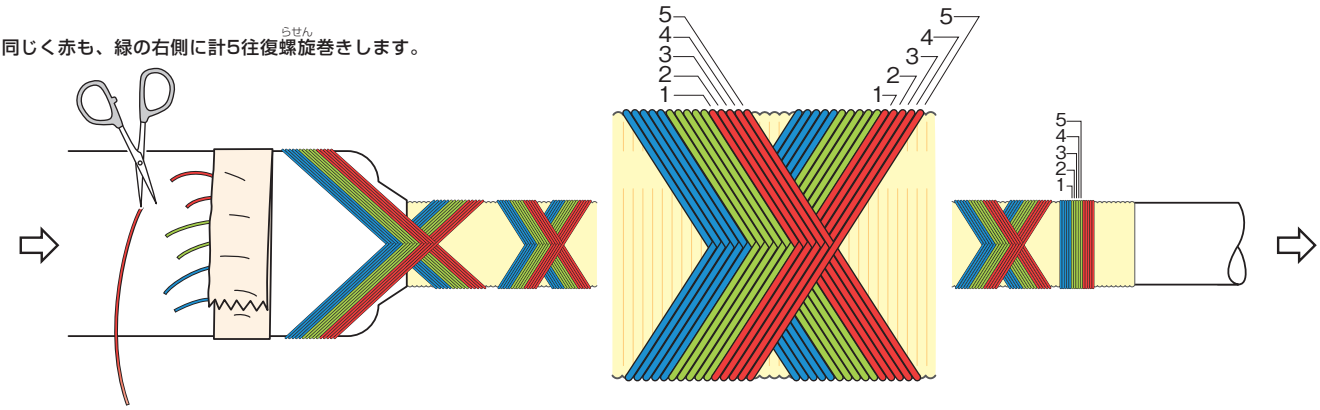
この後も、右側に右側に螺旋を沿わせて計5往復したら、巻きつけ、テープ止めして青をカット。



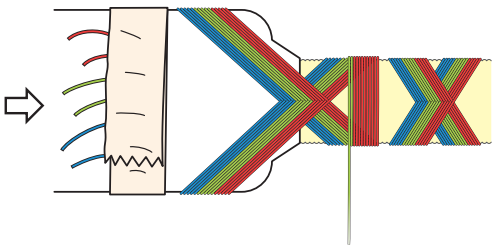
緑もまったく同じ要領で、青の右側に計5往復螺旋巻きします。



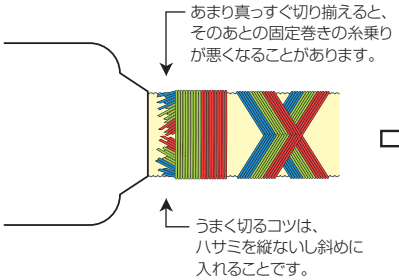
同じく赤も、緑の右側に計5往復螺旋巻きします。



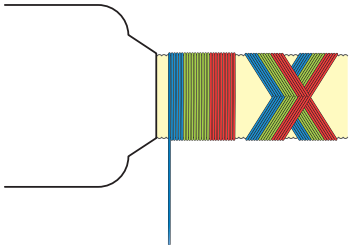
螺旋巻きがすべて終わったら、つぎに固定巻きを行ないます。
各色の巻き幅は、あらかじめ決めてから巻き始めましょう。
ここでは、まず赤を10周巻いて、固定。
つぎに、赤と隙間を空けずに緑を…



…10周させて固定したら、フォーグリップのテープを剥がし、螺旋巻きの糸端をカットします。



最後に青を10周。螺旋巻きの端糸を覆い、おわりまで巻いて糸端を固定します。



※このあとのコーティングは、P.12
コーティング時の注意 も参照ください。

ダイヤモンド巻き（2点ダイヤモンド） DIAMONDS

この巻き方は、シェブロン巻きとは対象的に、中央にある糸に対し、左右交互に螺旋を沿わせていくことでダイヤモンドの模様を形づくります。ここでは、右→左を繰り返します。

【使う糸】

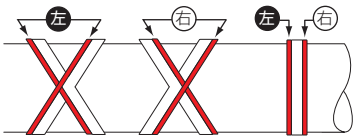
※飾り糸は、固定糸としても使います。

固定巻き
- 緑：10周
- 赤：両側6周づつ
- 青：　〃

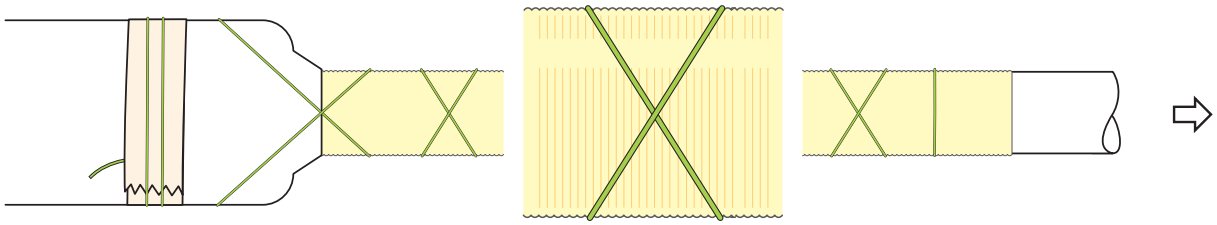
螺旋巻き
- 緑：5周（5往復）
- 赤：両側3周づつ（6往復）
- 青：　〃　（　〃　）

※ここでは、横糸のイラストは省きます。

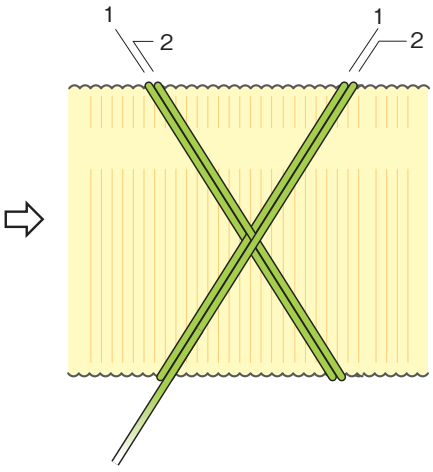
＊ここで言う「右」「左」とは…



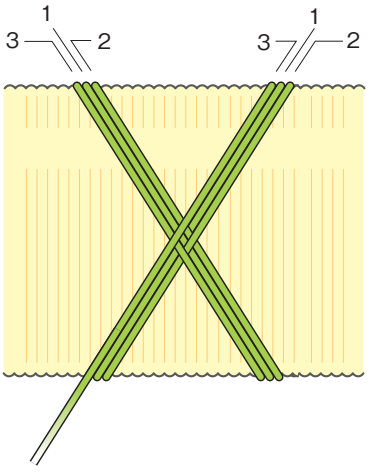
はじめに、緑を5往復させます。まず、すべての螺旋の中心となる緑を１往復させ…



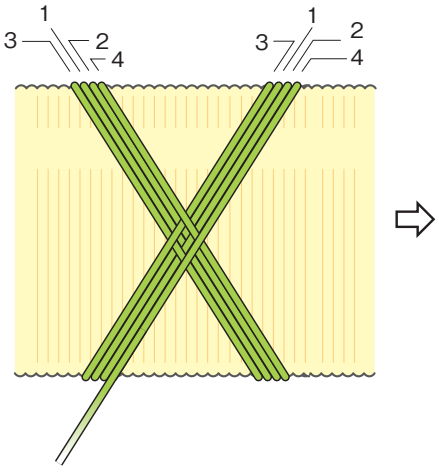
1の右に2往復目



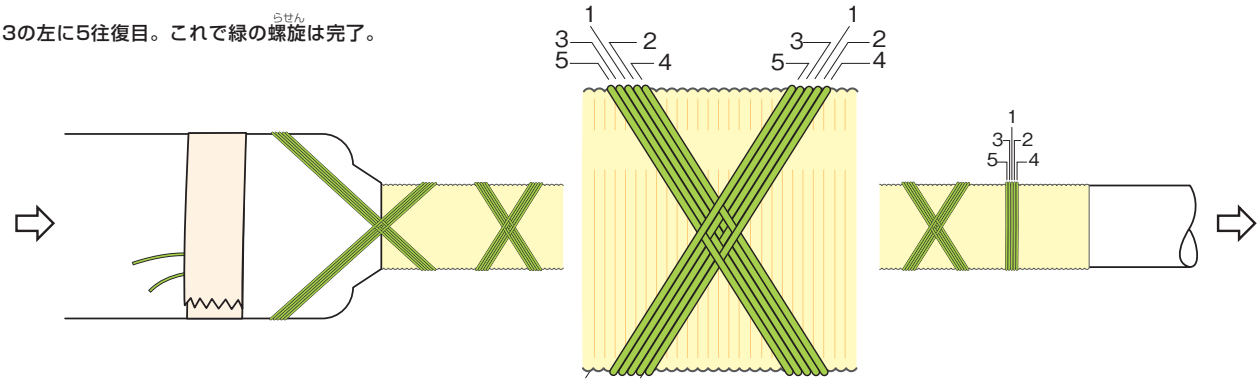
1の左に3往復目



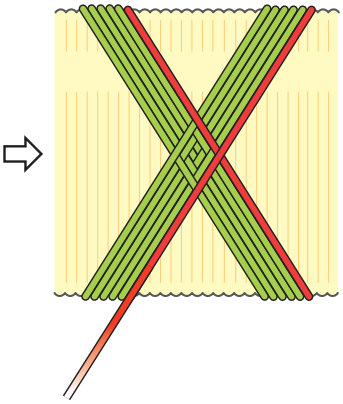
2の右に4往復目



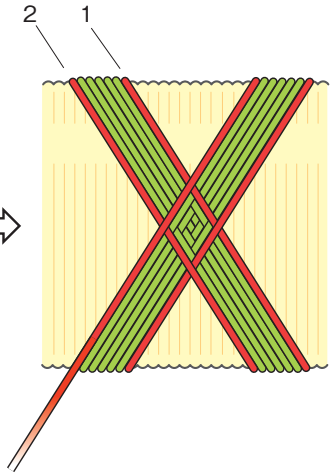
3の左に5往復目。これで緑の螺旋（らせん）は完了。



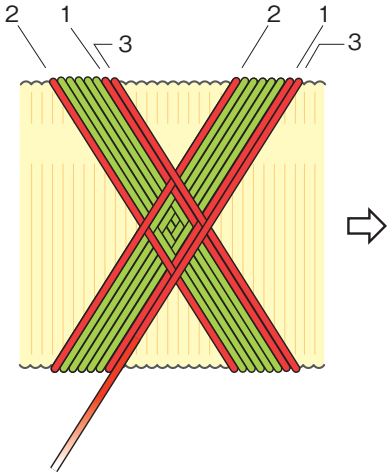
緑の右に、赤の１往復目。



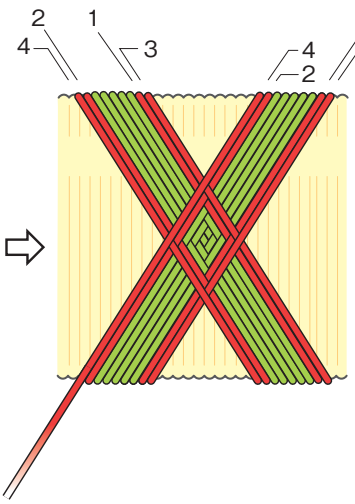
緑の左に、赤の2往復目。



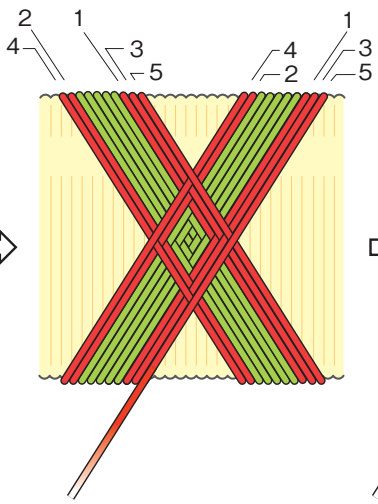
1の右に、赤の3往復目。



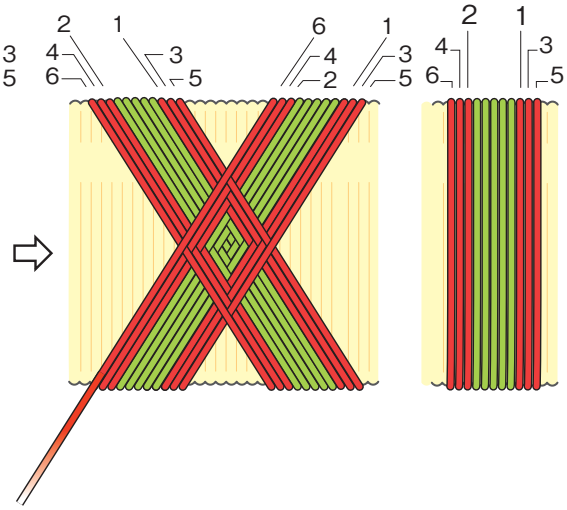
2の左に、赤の4往復目。



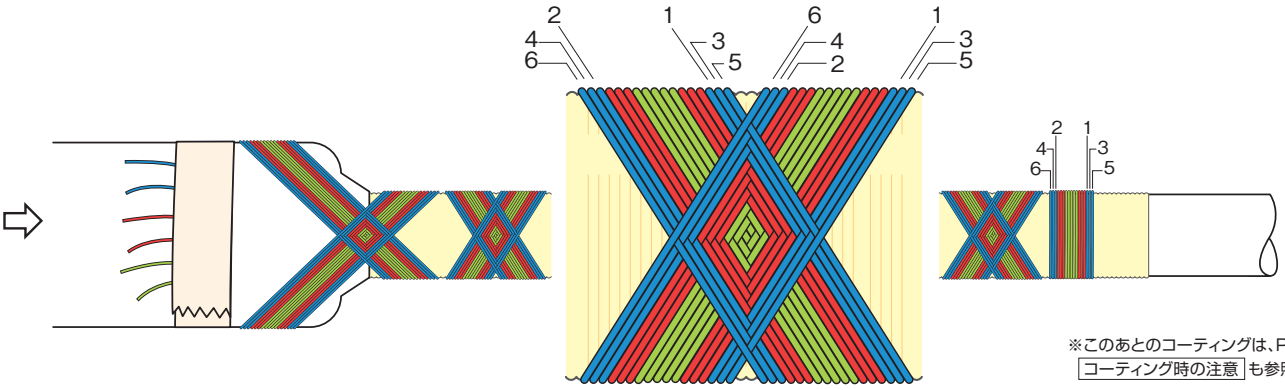
3の右に、赤の5往復目。



4の左に、赤の6往復目。これで赤の螺旋は完了。



赤の螺旋と全く同じ要領で、右→左と青の螺旋を6往復させ、おわりに固定巻き→糸端カット→固定巻きをしたら、すべて巻き終わりです。



※このあとのコーティングは、P.12
コーティング時の注意 も参照ください。

コーティング　～FINISHING～

⚠ **警告：** ・ツールを使用する前に、付属の取扱説明書をよく読んでから使用してください。
・火気および薬品類の取り扱いには十分注意してください。

筆の毛を抜けにくくするには、
軸をペンチなどでツブします。

ツール

二液性エポキシ
コーティング剤
（またはウレタン）

※二液性エポキシコーティング剤は、
グリップ部やトップガイドの接着に使う
二液性エポキシ接着剤とは異なります。

計量カップか専用注射器
（いずれの場合も主剤用と
硬化用が1個ずつ必要）

溶き皿
（金属、陶器、
ガラスなど）

割箸
（液のかき混ぜ棒）

筆
（毛が抜けにくいもの）

アルコール
ランプ

アルコール

ライター

ドライヤー

マスキング
テープ

板
（ロッドスタンドの
高さ調節用）

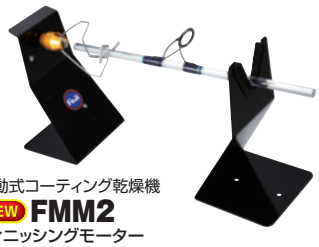
新聞紙
（液ダレ除け）

ガーゼ

ウエス

ティッシュ
ペーパー

シンナー
（筆洗い）



電動式コーティング乾燥機
NEW **FMM2**
フィニッシングモーター

通販できます

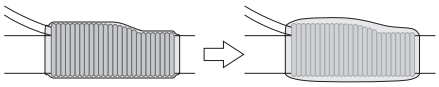
●通販の詳細は
P.23をご覧ください。

●コーティング剤に細心の注意を

混合比、かき混ぜ時間、硬化時間などが
商品によって異なる場合がありますので、
必ず取扱説明書を読み、指定に従いましょう。

●二度塗りもあり

よりキレイに仕上げるため、あるいは強度や耐久性を高める
ためとして、二度塗りする人もいます。
はじめの薄塗りで液を浸透させ、二度目の本塗りで仕上げと
いう具合にです。
※一度塗り専用のコーティング剤の場合は
一度で仕上げてください。



一度塗り　　二度塗り

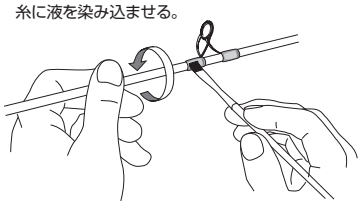
●コーティング乾燥機が便利

手でロッドを回しながらコーティングする人もいますが、
コーティング剤のほとんどは、乾燥に長時間かかることもあり、
よほどの馴れがない限り、液が片寄ったりタレたままの状態で
固まってしまいます。フィニッシングモーターがあれば、
均一の速さでゆっくりと回り続けますから、
ロッドを手で回す労力が省け、ムラなくキレイに仕上がります。

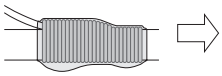
無ければ……

決して液を盛らず、あくまで糸に液を染み込ませる、という感じで薄塗りします。
ただし液が盛れないぶん、耐久性・強度はそれなりです。

軽く筆を置いてゆく感じで
糸に液を染み込ませる。

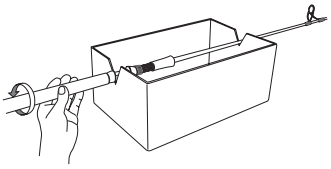


液を盛ると、
こんなふうになりがち。



液がコブに。

乾くまで、ときどき手で回します。



台はダンボールを加工。

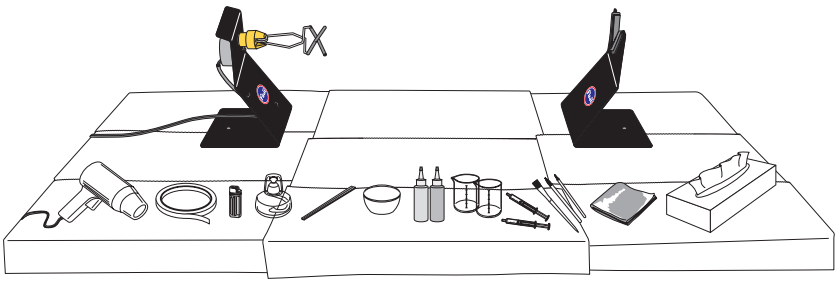
●その他

作業と乾燥は、なるべく高温・低湿で、塗った液にホコリやゴミが付かない場所で行ないましょう。

⚠ **警告：** ただしコーティング剤には有機溶剤が含まれているものもあるため、定期的な換気を忘れず、火気にもご注意ください。

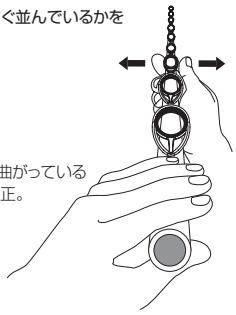
① 作業場を作る

液ダレに備え、机や床に新聞紙を敷き、その上にフィニッシングモーターを設置。
次に、この作業で使用するツールをすべて手の届くところに置きましょう。
コーティング剤は、途中で席を立っている間にも硬化が進むため、
万全の準備で作業に集中できる環境を作りましょう。



② ガイド並びの修正

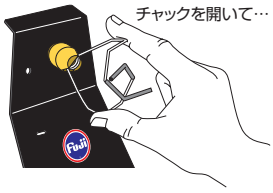
すべてのガイドがまっすぐ並んでいるかを
最終チェックします。



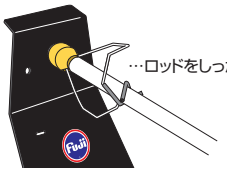
竿尻から覗き、曲がっている
ガイドを手で修正。

③ ロッドのセッティング

コーティング乾燥機にロッドを水平にセットします。



チャックを開いて…



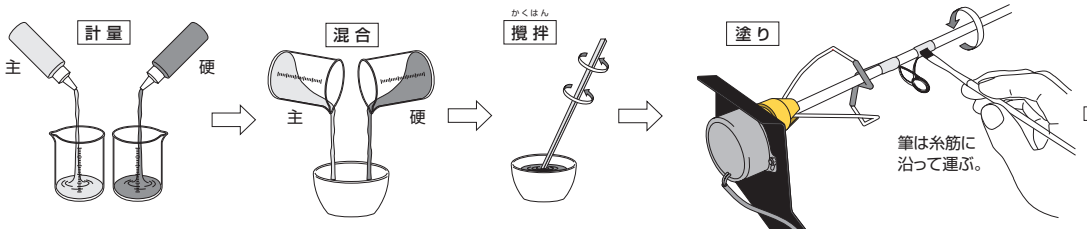
…ロッドをしっかり掴ませる。

水平かつスムーズに回るように

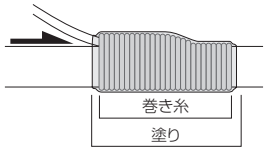
ロッドの固定が終わったらスイッチを入れてモーターを回してみます。

④ コーティング
コーティング剤を指定に従って混合します。

⚠ **注意：** コーティング剤は、ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。



水の侵入を防ぐため、
ロッドとガイドのすき間も液で埋めます。



液を塗る範囲は、糸の太さにもよりますが、
仕上がりを考え、巻き糸の
ほんの少し外側までにしましょう。

特に重要! **正確に計量**

適当に計量すると……
- ·すぐ硬化が始まってしまう
- ·いつまでたっても乾かない
- ·硬化後の見た目が悪くなる

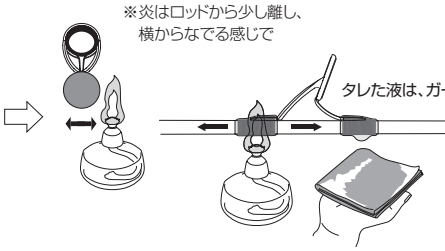
液は多めに
- ·塗っている最中、足りなくなるよりは余ったほうがマシ。
- ·少量だと、指定の混合比率に誤差が出ることあり。

かき混ぜもしっかり
指定の時間を守り、
しっかり混ぜましょう。
- ·かき混ぜ不足は、計量の失敗と同じような結果を招きます。
- ·このとき気泡が生じても あとで消せます。

はじめは薄く均一に
スイッチをONにしてロッドを回しながら
糸に液を塗ってゆきます。
二度塗りを前提とした場合、初回塗りのコツは、
- ·均一に薄く塗る。
- ·塗る、というより糸に筆を軽く置いてゆく感じ。
- ·すべての糸に液を染み込ませる感じ。
- ·液はあまり盛らない

……の4点です。

塗った液をアルコールランプであぶります。



⚠ **注意：** 二液性エポキシ
コーティング剤は
可燃性ですので、
炎を近づけ過ぎると、
液やブランクが
焼ける恐れがあります。

ライターだと、
馴れないうちはススが
付く恐れがあります。

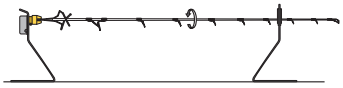
それまでモッタリしていた液がしなやかになり、
- ·気泡が消える。
- ·余分な液がタレ落ちる。
- ·糸だけでなく、ガイドとブランクの間にも液が染み込む。

……という状態になります。

なお、ドライヤー(HOT)でも、
これに近い効果が得られますが、
注意点は、風で液が波状に広がりやすいこと。
波状になった液は、ロッドを回し続けていれば
やがて落ち着きますが、
決めた塗装範囲(塗りのいちばん外側)を液が
オーバーしがちなので気をつけてください。

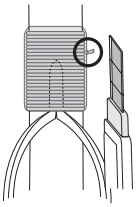
液が暴れやすいので、
風の強さ·向きに注意!

液が完全に乾くまでフィニッシングモーターで回し続けます。

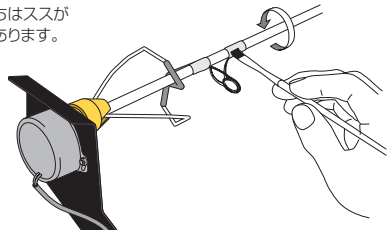


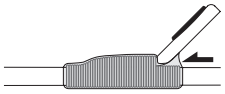
途中で乾き具合が気になりますから、
余った液を新聞紙に
一滴たらしておけば、
ロッドに触れずにチェックができます。

⑤ **塗りが乾いたら**
切りそこねた糸端が
突起になっていたら、
カッターで切ります。



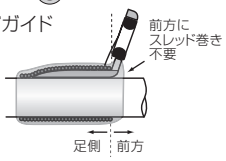
⑥ **二度塗りするなら**
ツールの再チェックを済ませ、
再びコーティング剤を作り、
同じ手順で塗りはじめます。
初回が薄塗りだったら
二度目は本塗りのつもりで。
初回塗り同様、完全に乾くまで
フィニッシングモーターで回し続けます。





通常のシングルフットガイドは、こんな感じで裏側に液を
盛ると、抜け防止や強度アップになりますが、**KB**と**KT**は
足側に塗ったコーティング液が「窓」を通じてフレーム
前方にも行き渡ることでそれ以上の効果が得られるため、
スレッドを前方に巻く必要がありません。

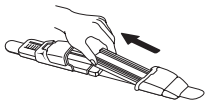
NEW **KB**ガイド　**KT**ガイド



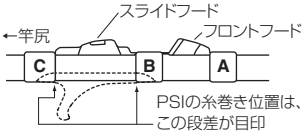
プレートシートの取り付け

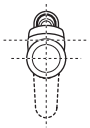
ツールも方法も、ガイドの取り付けと全く同じです。

① **NSシートの場合は、図のようにプラスチックカバーを持ち上げてロックを外し、矢印方向に引いて外します。**



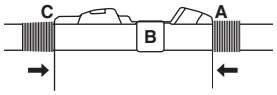
② **取り付け位置を決め、糸を巻く3点をマスキングテープで仮り止めします。この時、プレートシートとガイドをまっすぐにします。**
※もしシートがNS-6で、PSIも同時に取り付けるなら、このとき一緒に仮り止めします。





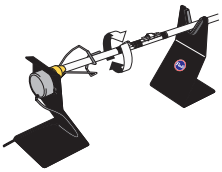
注)PSIはNS-6専用設計です。

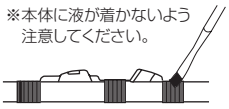
③ **仮り止めを一ヶ所づつ外し、順に糸を巻いてゆきます。この時、A→C→BまたはC→A→Bの順に巻いてゆくと、プレートシートをしっかり固定できます。糸の巻き方は、P.9～『ガイドの巻き方』をご覧ください。**
※PSIが有っても無くても、糸の巻き方は同じです。



A·Cは、それぞれ矢印の方向に巻き進めます。
Bは、自分が巻きやすい方向から巻きます。

④ **コーティングの方法も、ガイドの場合とまったく同じですので、P.16～『コーティング』をご覧ください。**
※PSIが有っても無くても、コーティングの仕方は同じです。





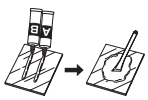
※本体に液が着かないよう
注意してください。

※NSシートのプラスチックカバーは、
液が完全に乾いてから元に戻してください。

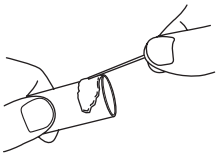
口金ガイドの取り付け

振出竿用ガイドは、元側から取り付けてゆきます。

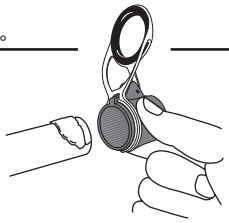
接着剤は、竿側に塗り、



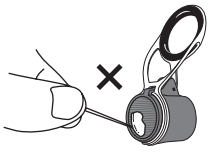
二液性エポキシ接着剤



ガイドを、回しながらゆっくり押し
込み、向きを合わせます。はみ出し
た接着剤はすぐに拭き取り、さらに
アルコールで落とします。



※ガイド側に接着剤を塗ると、
竿の内側に接着剤が
入ってしまう恐れがあります。



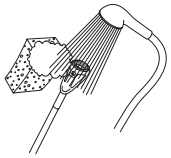
ロッドコンポーネントのメンテナンス

釣行後のお手入れについて

釣りから帰ったら･･･
ロッドと一緒にお風呂に入りましょう!

海水･淡水を問わず、釣行後は必ずロッドを洗浄し、お手入れをお願いします。ロッドコンポーネントを腐食や変質から守るとともに、破損個所の発見や不具合のチェックにもなります。特に海で使用したロッドコンポーネントは、塩分も取り除く必要があるため、人体に熱くない程度の「お湯シャワー」で洗うことをお勧めします。

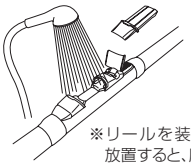
スポンジや柔らかい布を使い、中性洗剤や固形石鹸などで洗います。



リングには目に見えない砂などが付着していることがあり、これによってラインにキズがつく恐れがありますので、淡水用ロッドであってもリングもよく流しましょう。

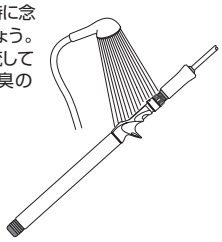
※頑固なヨゴレには歯ブラシなどを使います。

パイプシートもプレートシートも、リールは必ず外してから洗いましょう。砂が入り込むと不具合の原因となりますので、スライドフード部とスライド部は特によく流しましょう。



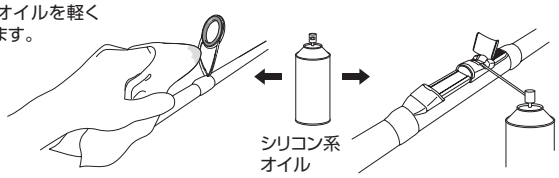
※リールを装着したまま放置すると、腐食･固着の原因となります。

スライド部分や回転部分、そして金属部分は特に念を入れて洗いましょう。コマセもよく洗い流してください。腐食、悪臭の原因となります。

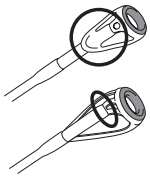


洗い終えたら、よく水を切り、乾いた布で水分をしっかり拭き取ってから、風通しのよい日陰で乾燥させます。

乾燥後、ガイドフレームやプレートシート（特に動作部分）などの金属には、シリコン系のオイルを軽く塗っておきます。



特にトップガイドのロウ付け部分は腐食しやすく、青サビも出やすいため、念を入れて塗布しましょう。



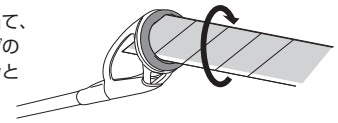
※FUJIチタントップは、フレームはチタン製ですが、パイプはステンレス製ですので、FUJIステンレストップ同様、釣行後のお手入れが必要です。

リング割れ　処置と防止

チェックのしかた

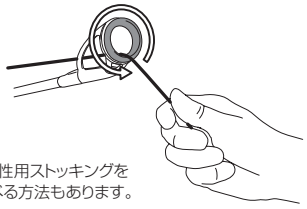
ラインが、妙な切れ方をする…どうも頻繁に切れる…。このような場合、なんらかの衝撃でガイドリングにキズが入り、それが原因となっていることがありますので、次の方法でチェックしてみてください。

カッターの刃をリングの内側に当て、グルッと一周させます。もしリングの欠け･割れがあれば、刃がカチッと引っかかります。



※この程度カッターの刃を当てても
リングは削れません。

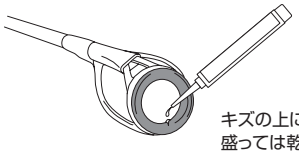
あるいは、ピンと張ったラインでリングの内側をグルッとなぞってみます。
リングの欠け･割れがあれば、ラインが引っかかります。



※細長くカットした女性用ストッキングを
リングに通して調べる方法もあります。

現場での応急処置

もし釣りの最中にリング割れを発見した場合は、この処置を参考にしてください。
ただしこれはあくまで応急処置であることをご理解いただくとともに、これ以後は、次の釣行までに必ずガイドを交換してください。
ガイドの交換につきましては、お求めの竿メーカー様、小売店様にご相談ください。



リングに汚れ、濡れがないことを確認したうえで、割れの箇所に瞬間接着剤を差し、盛っては乾かすことを繰り返してキズを埋めていきます。

キズの上に盛っては乾かし、
盛っては乾かし…を繰り返します。

⚠ 注意：
FUJIのガイドリングはすべてファインセラミック製です。ファインセラミックは極めて耐久性に優れ、ガイドリングとして最適な素材ですが、落下やぶつけ等により衝撃を与えると、割れることがあります。運搬も含めて取扱いにご注意ください。

※当社では、リングのみの交換･販売はしておりませんので、リング割れの場合、フレーム破損の時と同様にガイドそのものを交換する必要があります。
したがいまして、リング割れ･リング抜け･フレーム破損のトラブルが発生しましたら、お求めの竿メーカー様、小売店様までお問合せください。

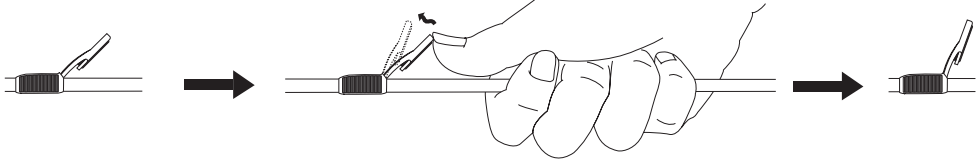
フレーム曲がりの応急修正

不意にフレームが曲がってしまった場合、指でゆっくりと元の形状に戻します。

※あくまでゆっくり行ってください。
急激に曲げたり、何度も曲げると、フレームが折れます。

倒れてしまったフレームを…

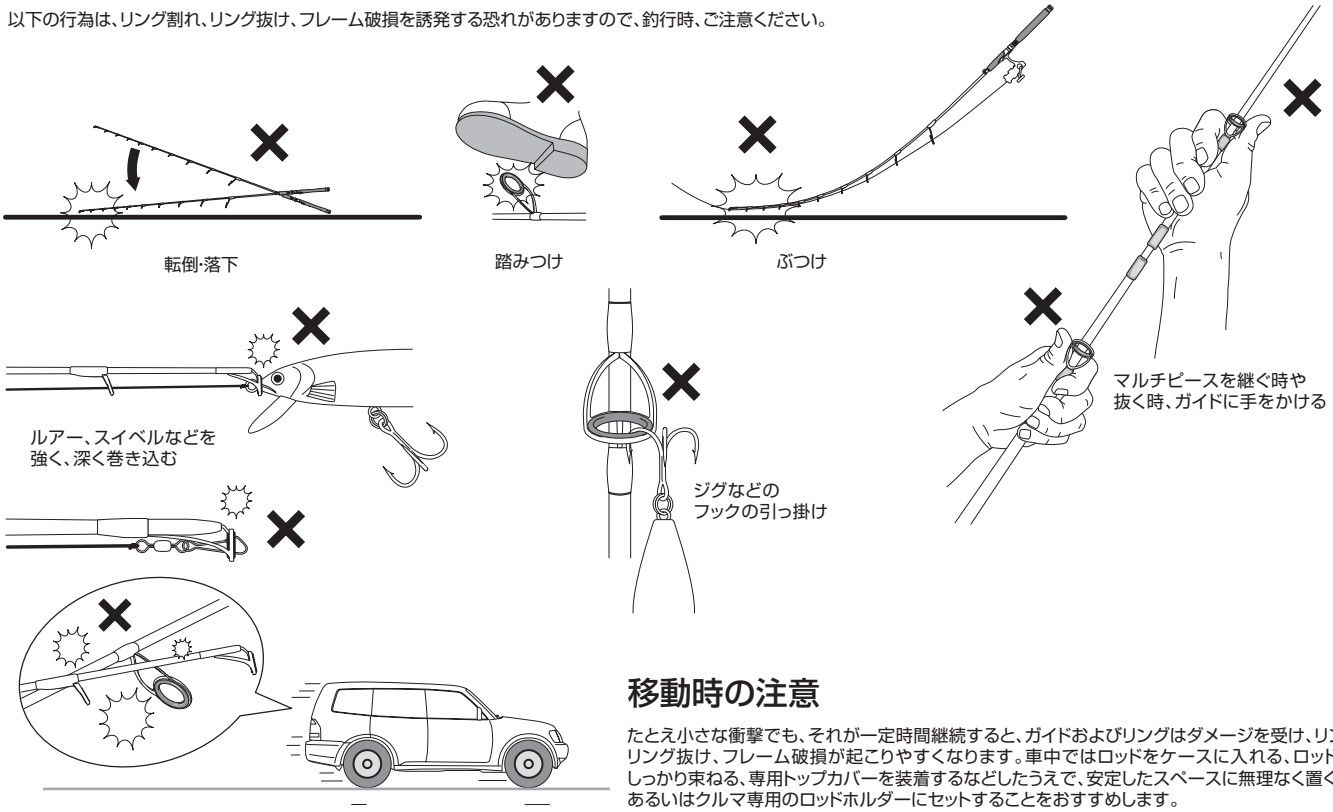
ゆっくりと力を入れて
元の角度に戻していく。



※フレームががネジレたり、極端な変形の場合は、ガイド交換の必要がありますので、お求めの小売店様、竿メーカー様にお問い合わせください。

リング割れ、フレーム変形を防ぐ

以下の行為は、リング割れ、リング抜け、フレーム破損を誘発する恐れがありますので、釣行時、ご注意ください。



※ドア、パワーウィンドーの開閉にも充分ご注意ください。

移動時の注意

たとえ小さな衝撃でも、それが一定時間継続すると、ガイドおよびリングはダメージを受け、リング割れ、リング抜け、フレーム破損が起こりやすくなります。車中ではロッドをケースに入れる、ロッドベルトでしっかり束ねる、専用トップカバーを装着するなどしたうえで、安定したスペースに無理なく置く、あるいはクルマ専用のロッドホルダーにセットすることをおすすめします。

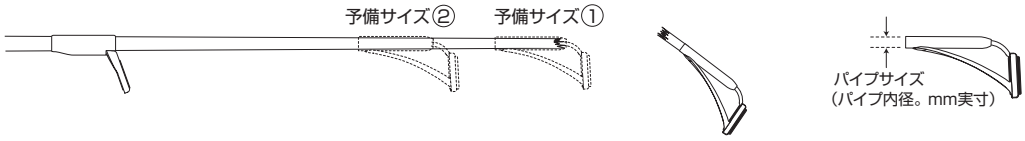
穂先が折れたら…

このノウハウは、あくまで応急処置であり、釣行直前、あるいは釣行中に起こったトラブルへの対処法とご理解ください。
通常の場合は、穂先が折れた時点で、修理について、お求めの竿メーカー様あるいは小売店様までお尋ねください。

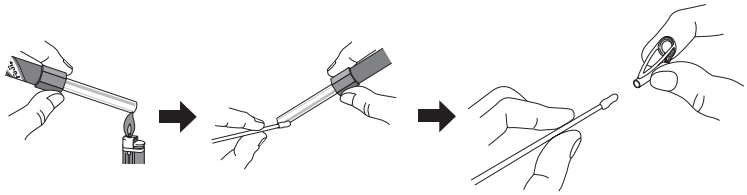
Fuji ホットグルーS
NEW SGLUE

折れた箇所に合う予備のトップガイドとFUJIホットグルーがあれば、ロッドは短くなってしまいますが、応急処置は可能です。
こういう事態に備え、特に遠征には、いまロッドに付いているものより少し太めのパイプサイズのトップガイドを携帯していれば、急場をしのげるかもしれません。

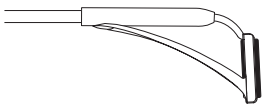
どこで折れるか事前にはわかりませんが、携行する予備サイズは、例えば・・・



※折れた箇所にトップガイドを付けると、ロッドのアクションは、それまでより硬めになります。
※穂先が折れた場合は本来、ガイドバランスが以前と変わるため、他のガイド位置も修正が必要です。



接着強度はあくまで応急レベルですが、FUJIホットグルーには、パイプサイズが少しくらい太くても穂先とのスキ間を埋められる、という利点があります。



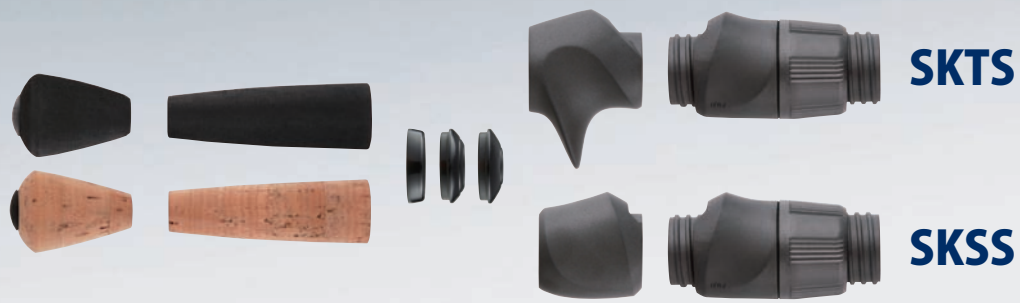
FUJIホットグルーの詳細・使用法は
P.9をご覧ください。

帰ったら・・・・・
・ちょうど合うサイズのトップガイドを二液性エポキシ接着剤で付けましょう。
・ロッドが短くなり、ガイドバランスが以前と変わったため、トップガイド以外のガイドも位置修正しましょう。

スケルトンシート

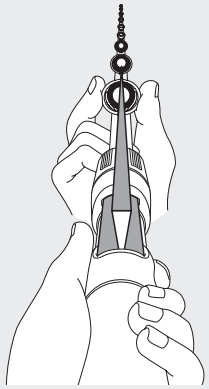
SKシリーズ

超軽量・新発想
グリップフィーリングにこだわったオール樹脂製セパレートシート

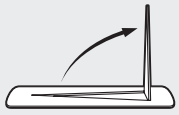


ガイドはすでにチタンフレームスペックで軽量化済み。
しかし、まだまだロッドを軽くしたいとき、残るはパイプシートだけ …
そんなニーズに**SK**シリーズは応えます。
リールシートとして実釣に必要な要素以外すべて削ぎ落とし、従来パイプシートと比べて画期的な軽量化を実現。その結果、想像を上回るグリップ感を獲得。しかもオール樹脂であることによる数々のメリットも享受。
これを果たしてパイプシートと呼んでいいものか … 新発想セパレートシート**SK**シリーズは、これまでのリールシート史に新たなカテゴリーをつけ加えました。

切り抜いて使える
向き合せリール足台紙



専用ワインディングチェックに新色登場



向き合せリール足台紙は
SKTS・SKSS接着後、
ガイドの向き合わせにも
使えます。

SKSS 装着例

for **BAIT CASTING**

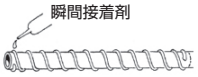
for **SPINNING**

接着時、トリガーフードボディからネジボディまでの寸法はこれを目安としてください（**16・17**共通）。
ただしこの寸法はリール足の形状によっても変わるため、必ず接着前に使用リールを装着して確認ください。

SKTS・SKSSの詳細は、
総合カタログ**P.68**をご覧ください。

SKシリーズの接着

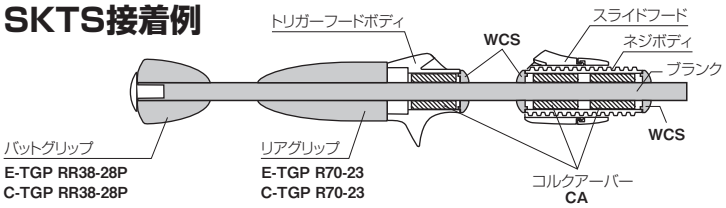
グリップ素材の内径にスキ間がある場合は、ブランクに糸を巻いて寸法調整してください。



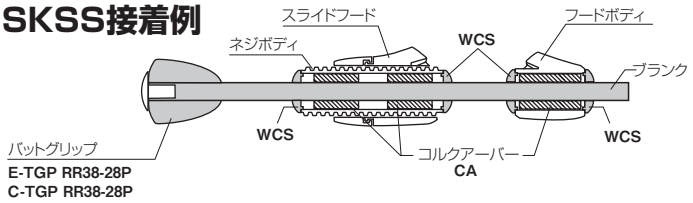
以下の作業で使用する接着剤は、すべて二液性エポキシ接着剤です。取扱説明書をよく読み、ひとつずつ確実に硬化させてから次の接着へと進んでください。　※硬化時間にご注意ください。

どちらもこの時点では、ガイドはブランクに付いていません

SKTS接着例



SKSS接着例



まず目安寸法の決定を

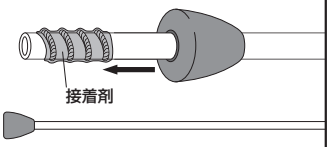
接着を始める前に、必ず使用リールを装着し、目安寸法(P.20)を決めてからすべての作業を始めてください。目安寸法は SKTS、SKSS とも **34mm** に設定しています。しかしながらこの数値は、リール足の形状によっても変わりますので、この点じゅうぶんご注意ください。

アーバーは専用コルクで

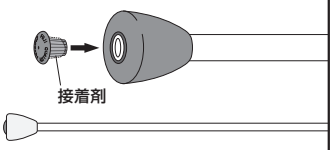
マスキングテープなどで代用すると、特にネジボディがたわんでスライドフードの回転に支障をきたすことがあります。コルクアーバーは接着剤をよく吸収し、硬化するとしっかり固まります。

SKTS接着例

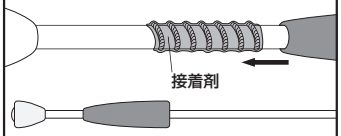
①バットグリップを接着します。



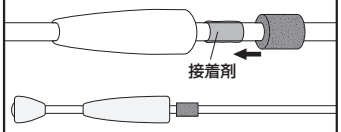
②バットプラグを接着します。



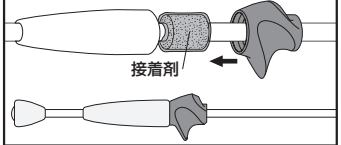
③リアグリップを接着します。



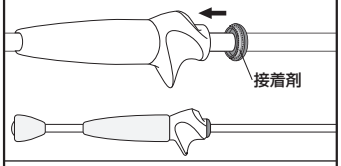
④トリガーフードボディ用のコルクアーバーをブランクに接着します。



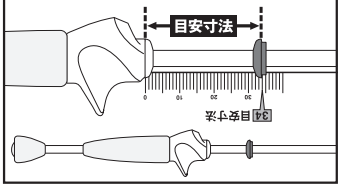
⑤ブランクのスパインに合わせ、トリガーフードボディを接着します。



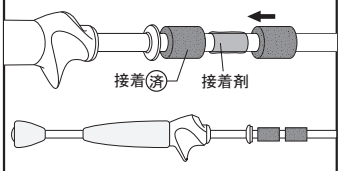
⑥WCSをトリガーフードボディに接着します。



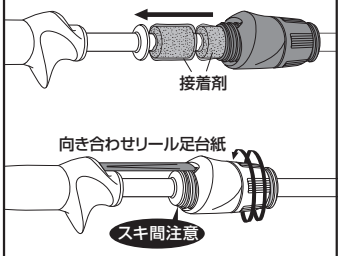
⑦目安寸法定規に合わせ、ネジボディ用のWCSをブランクに接着します。

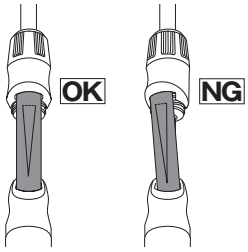


⑧ネジボディ用のコルクアーバーをブランクに接着します。



⑨スライドフード装着のままネジボディを接着します。トリガーフードボディとの向きを合わせる時、**向き合わせリール足台紙**を使うと便利です。

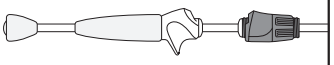




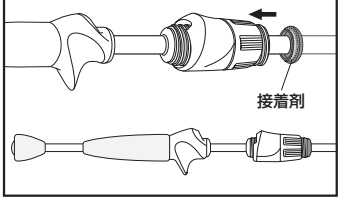
※スライドフードを回しすぎると、ネジボディとWCSとの間にスキ間が空くので注意してください。

※向きが合ったら、硬化するまで動かさないでください。

※接着剤がスライドフードやネジボディに付かないよう注意してください。

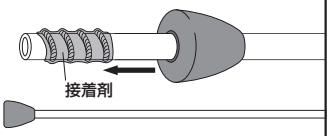


⑩WCSをネジボディのもう一方に接着し、これが硬化すれば完成です。

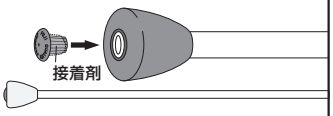


SKSS接着例

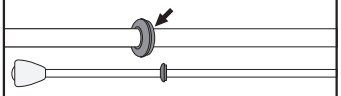
①バットグリップを接着します。



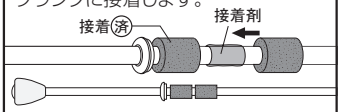
②バットプラグを接着します。



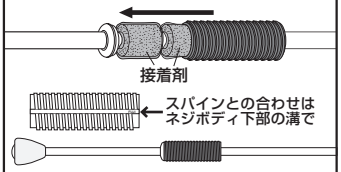
③ネジボディ用(バットエンド側)のWCSをブランクに接着します。



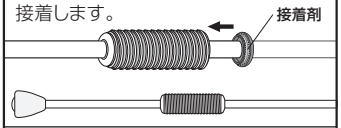
④ネジボディ用のコルクアーバーをブランクに接着します。



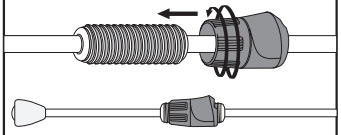
⑤ネジボディを接着します。



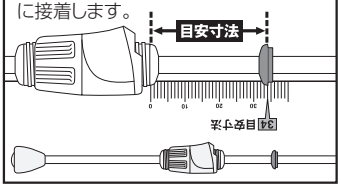
⑥WCSをネジボディのもう一方に接着します。



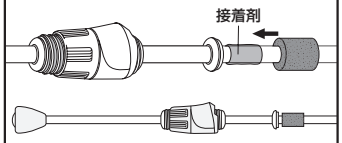
⑦ネジボディにスライドフードをセットします。



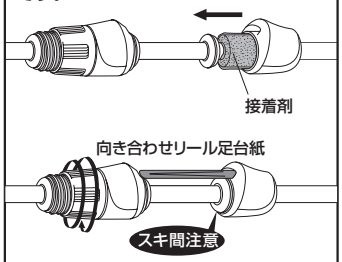
⑧目安寸法定規に合わせ、フードボディ用(バットエンド側)のWCSをブランクに接着します。

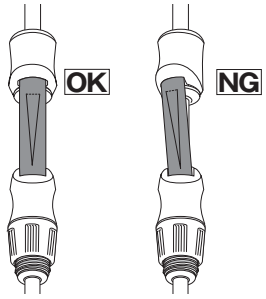


⑨フードボディ用のコルクアーバーをブランクに接着します。



⑩フードボディを接着します。スライドフードとの向きを合わせる時、**向き合わせリール足台紙**を使うと便利です。

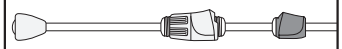




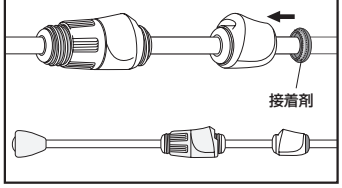
※スライドフードを回しすぎると、ネジボディとWCSとの間にスキ間が空くので注意してください。

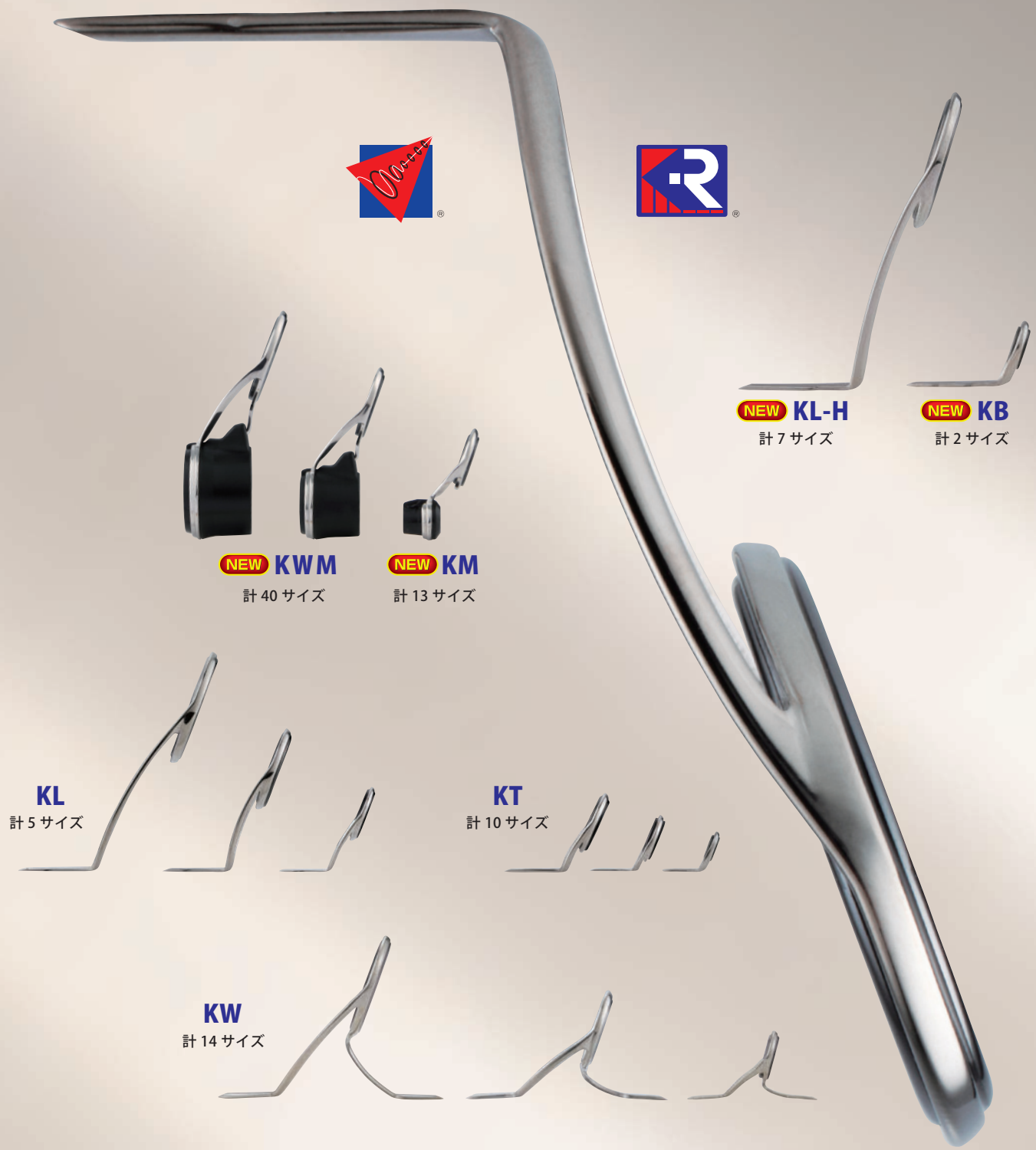
※向きが合ったら、硬化するまで動かさないでください。

※接着剤がスライドフードやネジボディに付かないよう注意してください。



⑪WCSをフードボディのもう一方に接着し、これが硬化すれば完成です。





Kシリーズ

ベイト、遊動、K·R… つづくK構造の展開

糸絡みを気にせずフルキャスト、チョーク抵抗は極小、ロッド本来のアクションを生かせる最短の全長、最小限の傾斜なのにラインのかぶりも抜けやすく、糸通りもスルスル … 一体化は不可能と思われたスピニングロッド用ガイドに求められるこれら機能の兼備を、最も開発困難とされたシングルフットハイフレームで実現させた**KL**。これを強度の高いダブルフット**KW**と、コンパクトなティップ用シングルフット**KT**にも応用。

リング面をどう傾けるか、あるいは傾斜ブリッジをどう設けるかという二者択一だった傾斜フレームガイドの概念を覆した**K**ガイド３モデルは、最も絡みやすいPEのみならず、ナイロン・フロロでも糸絡み回避機能と安定した平均飛距離を実証。

その後のベイトキャスティング用途における**K**構造の検証では、既存ガイドおよび新規試作まで含めた比較テストの結果、キャスト絡み回避をはじめとする総合的評価で、**KW**と**KT**は下向き(スピニング)だけでなく上向き(ベイト)でも最高水準の性能であることが判明。

さらに今回、遊動型の**KWM**と**KM**、そして**K·R**コンセプトモデルの**KL-H**と**KB**が登場。合計７モデルとなった**K**構造を持つ**K**ガイドによる**K**シリーズの展開は、まだ始まったばかりです。

世界初 糸絡み自動解除フレーム

富士工業 Kシリーズ 検索

驚異のK構造
世界初 糸絡み自動解除フレームの誕生

Fuji® ロッドクラフト用品

●掲載価格はすべてメーカー希望小売価格です。
●消費税は含まれておりません。

NEWサイズ　スリム! エコノミー!

ホットグルー

Fuji® ホットグルー

ホットグルーS
SGLUE

金属トップの応急接着に
炎で熱するだけですぐ溶け、約2〜3分で硬化する応急用の固形接着剤。釣場に携帯すれば便利です。

品　番	希望小売価格(円)
NEW SGLUE	250

※金属トップガイド専用です。
※ULトップとULMガイドにはご利用になれません。

ホットグルー（発売中止）　ホットグルーS

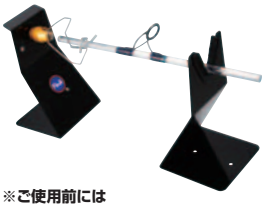
●使い方は P.9をご覧ください。

NEWモデル

FMM2

電動式コーティング乾燥機
フィニッシングモーターの最新型！

通販できます



コーティングの必需品
均一の超低速でゆっくり回り続けるから、
液が片寄らず、ムラなくキレイに仕上がります。

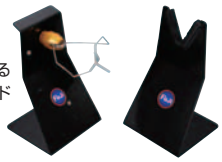
品　番	希望小売価格(円)
NEW FMM2	5,500

50Hz地域:約8回転/分
60　〃　:約9.6回転/分

使用範囲 … 直径 4mm〜30mmまでで、重量500g以下のロッド。

※ご使用前には必ず付属の取扱説明書をよくお読みください。

※ロッドとガイドは付属しません。



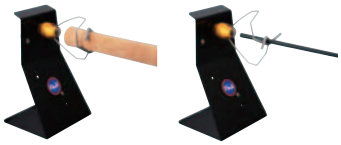
安定感ある
スチール製スタンド

収納時

場所をとらない
スタック形状

新開発
チャック

ロッドを
しっかり固定



太径も細径も
ガッチリホールド

注意：
・本製品は、釣竿のフィニッシング専用です。その他の目的には使用しないでください。
・表記の電圧以外での使用はしないでください。
・高所より落下させたり、ぶつける等、強い衝撃を加えないでください。破損の危険があります。
・幼児、子供の手の届くところで使用したり、保管したりしないでください。
・本製品の分解改造はしないでください。故障や事故の原因になります。
・本製品を使用する際には必ず製品を点検し、安全を確認のうえご使用ください。

NEWモデル

RRM2

ラッピングに便利！
ハンド･ロッドラッパーの最新型

通販できます

※ロッド、ガイド、スレッドは付属しません。

均等なテンションでラッピングでき、
途中で手を休めることもできます。

品　番	希望小売価格(円)
NEW RRM2	5,500

●安定感あるスチール製スタンド。
●スレッドスタンドとテンショナーが一体のすっきりデザイン。
●3色のスレッドを同時にセット可能。

Fuji® リペアキット　新登場！

釣り場で突然起こる穂先折れやトップ破損。でも**FUJIリペアキット**があれば、その場で応急処置！
釣りの続行可能! もしもに備えて携帯すれば安心･便利！

釣行中に穂先折れ!

こんなことはありませんか?

トップガイド3サイズ ＋ ホットグルー S
（POT or LOT）

希望小売価格 500円

NEW バスロッド用
NEW 波止竿･サビキ竿用
NEW 振出投竿･ちょい投竿用

このマークが目印！

通販できます

ハンド・ロッドラッパー **RRM2** とフィニッシングモーター **FMM2** は、
通販でお求めいただけます。

現金書留

封書に以下を明記のうえ、商品代金（消費税込みの金額）を同封ください。
住所/氏名/電話番号/品番と個数（例：**FMM2**　1個）→ 商品代金は 5,775円

送料と発送
佐川急便によるお客様着払いとなりますので
ご了承ください。

お申し込み先
〒422-8564 静岡県静岡市駿河区南町19-3
富士工業株式会社 営業課 営業係　Tel (054)-285-2251

●ハンド･ロッドラッパーRRM2とフィニッシングモーターFMM2を除き、本文に掲載のFUJI製品は直接販売をしておりません。お近くの釣具店様でお求めください。
●FUJI ロッドコンポーネントの詳細につきましては、総合カタログもしくは弊社サイトwww.fujitackle.comをご覧ください。

注意

・このカタログに掲載されている製品は、釣り以外の目的には使用しないでください。
・セラミックは極めて耐久性にすぐれ、ガイドリングとして最適な素材ですが、使用条件によっては摩耗することもあります。
・セラミックリングは、落としたり、ぶつけたり、衝撃を与えると割れることがあります。また、ガイドフレームも、衝撃や荷重によって変形することがあります。運搬も含めて取扱いにご注意ください。
・ガイドのフレームを無理に曲げて角度を変えると、フレームが折れたり、リングが抜けたりすることがあります。
・ガイドの足先をグラインドした場合、金属粉が残ったままガイドを取り付けると、腐食の原因となります。
・樹脂製品の接着乾燥は70℃、30分間が目安です。長時間、高温下に置くと変形する場合がありますので、保管場所にもご注意ください。
・品質には万全を期しておりますが、お気づきの点がありましたら当社までお問い合わせください。
・子供･幼児の手の届かない所に保管してください。
・改造品については責任を負いかねます。
・水分、塩分、ドロ等、汚れたまま放置すると、腐食や変質の原因となります。使用後は汚れを拭きとり、風通しの良い日陰に保管してください。
・ガイドや他のパーツについても、ご使用前後の点検は必ず行ってください。
・このカタログに掲載されている価格はすべてメーカー希望小売価格です。消費税は含まれておりません。
・写真の色は、印刷等の関係上、実際の色と異なる場合があります。
・仕様、価格は改良等のため、予告なく変更することがあります。

楽しんだ、釣り場へ感謝の、あと始末
世界釣り週間を成功させましょう

このマークは、(財)日本釣振興会と(社)日本釣用品工業会が日本の「つり」と「つり環境」をよりよく発展させようと設けた釣り振興事業資金拠出に協力している商品についております。当社も、この主旨に賛同し積極的に協力しています。

●本紙は大豆インクを使用しています。

ひとりひとりのマナーが問われています
釣り場をゴミから守りましょう

世界のテクノロジーを地球のエコロジーへ。
We Love the earth

海での「もしも…」は118番通報
安全のため、釣り場では必ず
フローティングベストを着用しましょう

©2012 20000S